

令和5年度 事業報告



目次

I 令和5年度 事業活動報告	P. 3
1 芸術文化を育成、振興するための文化事業の提供と、芸術文化の調査、情報収集、発信及び継承	
(1) 芸術文化公演の企画、運営及び提供	P. 5
(2) 芸術文化事業の調査、情報収集及び情報提供	P. 9
(3) 芸術文化活動の支援及び交流の促進	P. 12
(4) 浜松市の行う芸術文化事業の受託と協力	P. 20
2 芸術文化活動の促進と地域社会活性化の拠点となる施設の整備、貸与及び運営	
(1) アクトシティ浜松	P. 27
(2) クリエイト浜松	P. 31
(3) 浜松市浜北文化センター	P. 34
(4) 浜松市なゆた・浜北	P. 37
(5) 浜松市天竜壬生ホール	P. 40
(6) 浜松市市民音楽ホール（サーラ音楽ホール）	P. 44
3 観覧施設を活用した資源の調査、収集、保存、展示による芸術文化の普及発展	
(1) 浜松市楽器博物館	P. 48
(2) 浜松文芸館	P. 53
(3) 浜松市・市民ミュージアム浜北	P. 57
(4) 浜松市秋野不矩美術館	P. 59
II 令和5年度 管理事項報告	
1 会議に関する事項	P. 63
2 役員等に関する事項	P. 65
3 職員に関する事項	P. 66

I 令和5年度 事業活動報告

1 総括

令和5年度には、3年以上続いた新型コロナウイルスの危機対応が転換点を迎え、社会生活は正常化を取り戻しました。一方、エネルギーをはじめとする物価の高騰は、様々な分野に影響を及ぼしました。

そのような状況下で、当財団においては改善と工夫を重ね、安定的な運営に向け努力するとともに、浜松市のパートナーとして中間支援の機能を十分に発揮できるよう努めました。特に、社会や環境の変化をとらえ、当財団だからこそ創り出せる価値を生み出すことを視野に、その地域や施設の特長を活かした運営と、浜松ならではの事業の創出に取り組みました。

今後におきましても、持続的に安定した運営に努め、芸術文化が活力を生む創造性豊かな浜松市の実現のため寄与していきます。

2 芸術文化振興への主な取り組み

(1) 芸術文化公演の企画運営について

令和5年度は、念願であった海外からの招聘オペラの公演を6月に開催することができ、コロナ禍が明けたことを実感できる幕開けとなりました。

また、アクトシティ浜松オリジナル演出の能狂言や、浜松ゆかりのアーティストや今後の活躍が期待される若手演奏家にスポットをあてた公演など、多彩なジャンルの事業を開催することができました。

さらに、浜松国際ピアノコンクール等から育った演奏家の活躍の場を創出することにも注力しました。

今後におきましても、財団に蓄積した資産（これまでの事業から輩出した人材やネットワーク）を活かし、浜松ならではの価値を創り出す取り組みに挑んでいきます。

(2) 芸術文化活動等の支援について

市民主体の文化的活動をより活性化させるため、当財団が担っている芸術文化を起点として、活動と活動の接点を増やし、人と人をつなげる懸け橋として、中間支援の機能を最大限に発揮した取り組みに努めました。

また、浜松アーツ&クリエイション事業では、市民の創造性ある活動について、活動の価値を多くの人に認めてもらうため、丁寧なヒアリングを通じた発信により、共感者をつなげていく支援に努めました。

活動主体者間の知見・情報の共有、さらには異分野との接点を創り出すなど、様々なネットワークをつなげることが、浜松アーツ&クリエイション事業がもつ重要な役割と認識しています。

(3) 浜松市とともに推進する共催・負担金事業等について

浜松国際ピアノコンクール事業については、第12回（2024年）開催に向けて募集要項の発表や出場者募集などの業務を進めるとともに、さらなる周知に向け、ヨーロッパ圏でのPR事業を展開しました。

次代の芸術文化の担い手の育成については、芸術文化に触れる機会の創出から世界で活躍するアーティストの発掘まで、市民が支える未来人材の育成に取り組みました。

3 所管施設の運営について

(1) 指定管理施設の運営について

令和5年度は、10施設の指定管理を受託しました。

受託にあたっては、指定管理者協定に基づく適切な管理運営に取り組みました。

令和5年度は、原材料価格やエネルギーコストの上昇などが施設管理に影響を及ぼす運営となりました。特に、アクトシティ浜松において、電気料基本料金が前年度の倍以上となったことは、想定を超えるものでした。

また、浜松市の計画するアクトシティ浜松及び浜松市浜北文化センターの大規模改修工事については、施設の利用停止期間の公表において、利用者の不安や混乱を招くことがないように、代替となる施設の案内を含め、丁寧な対応に努めました。

さらに、各施設では、イベントと併せ、地域の商業者と協力したマルシェの開催、周辺企業や大学等と連携した企画などにも取り組みました。

施設の価値を創り出すためには、施設ごとの役割を理解し、その地域・施設の特長を活かした運営を創り上げ、地域の活性化に寄与する取り組みとしていくことが重要と認識しています。

(2) 施設の利用促進について

施設の利用促進を図るため、地域の実態、利用者のニーズなど、施設ごとの特徴をつかみ、適切な対応を進めました。

利用者との信頼関係を丁寧に築き、利用者の目的達成に向け、施設の機能を有効に活用する使用方法を積極的に提案するなど、利用者を選んでいただける施設となるよう努力しました。

特に、アクトシティ浜松では、コンベンションの開催に際し、機材のレンタルやケータリングを利用者に代わって手配するなど、催事の開催を支援するサポートサービスメニューの充実に取り組み、この施設ならではの価値を認めていただくよう努めました。

施設の利用促進には、利用者の事業を成功に導くために、創意工夫を重ね、運営の特長を創り出す取り組みが重要と認識しています。

4 法人経営について

令和5年度は、社会や環境変化等に柔軟に対処するため、常に運営を見直すことができる組織を目指しました。

大規模地震等の自然災害に対する対策として、実践的な訓練を実施し、マニュアルの見直しも行いました。その中で、「緊急警報鳴動時の対応」についての新たな項目をマニュアルに追加し、内容を充実させました。

令和5年10月から導入されたインボイス制度については、職員全員に対する基礎研修を実施しました。今後さらに各種手続きについて遺漏がないよう対応を進めています。

また、創造性ある職員の育成に向け、芸術文化の専門知識の向上、業務改善提案などにも取り組みました。以前より導入している「業務改善実施報告制度」では、集まった100件の事業改善報告は職員間で共有し、これを基にさらなる改善を進めました。さらに、職員研修では、個人情報保護、SNS利用ガイドライン、接遇研修等の基本的事項のほか、相手に共感・理解を得るための資料作成方法やプレゼンテーションスキルの向上などを習得する機会も設けました。

社会や環境変化等への対処においては、創造性ある職員の育成が重要となります。職員自らが課題に対し、小さな改善や工夫に挑み続けること、その蓄積が財団の土壌となり、社会の変化を踏まえた新たな価値を創出する土台となることを認識しています。

1 芸術文化を育成、振興するための文化事業の提供と、芸術文化の調査、情報収集、発信及び継承

(1) 芸術文化公演（鑑賞型）の企画、運営及び提供

① 事業総括

令和5年度は、コロナ禍で開催が難しかった海外からのオペラやオーケストラの招聘公演のほか、クラシックやジャズ、伝統芸能、吹奏楽など、多彩なジャンルの公演を開催しました。

また、財団独自の選定による若手演奏家のシリーズ企画「アクト・ニューアーティスト・シリーズ」は、国内外の主要なコンクール入賞者や浜松国際ピアノアカデミー出身者など、今後の活躍が大きく期待できる演奏家を招聘し、昨年度に引き続き継続して開催したほか、地元マスメディアや演奏家団体との共催事業も多く取り入れ、ディズニーやジブリ音楽などの親しみやすい公演や、静岡県を拠点とする富士山静岡交響楽団の定期演奏会などを開催しました。

年間を通し、浜松にゆかりのある芸術家による公演を積極的に取り上げるなど、これまで培ってきた経験とネットワークにより浜松オリジナルの事業の企画に注力しました。

② 重点的に取り組んだ事項

- 世界的な名演奏家たちによるコンサートシリーズの「アクト・プレミアム・シリーズ」では、現在世界最高のメゾの評価を受ける藤村実穂子、幼少期に浜松国際ピアノアカデミーに参加し、今や世界的に人気ピアニストとなったアリス＝紗良・オットなど、5公演を開催しました。
- オーケストラ事業では、巨匠シルヴァン・カンブルラン指揮によるドイツの名門ハンブルク交響楽団、若き天才指揮者クラウス・マケラが率いるオスロ・フィルハーモニー管弦楽団の来日公演を開催、ソリストにはハンブルク交響楽団には角野隼斗、オスロ・フィルハーモニーには辻井伸行と人気ピアニストが登場しました。
- 大型舞台公演として、人気狂言師、野村萬斎の監修による浜松オリジナル演出の「アクトシティ能・狂言」を開催しました。またオペラ公演として、パレルモ・マッシモ劇場によるプッチーニ「ラ・ボエーム」、バレエ公演として、東京バレエ団の新作「眠れる森の美女」など3公演を開催しました。
- 浜松ゆかりのアーティストでは、日本を代表するピアニスト仲道郁代のリサイタル・シリーズを昨年に引き続き継続開催、また日本を代表するサクソフォーン奏者、須川展也のデビュー40周年を祝う記念演奏会を開催しました。

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	入場率	内容
アクト・ニューアーティスト・シリーズ (クラシック界注目の若手演奏家によるアクトシティ独自のシリーズ企画)					
No. 138 渡邊 紗蘭 (ヴァイオリン)	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	5/14	154	91.0%	第91回日本音楽コンクール第1位。
No. 139 児玉 隼人 (トランペット)		7/30	206	100.0%	第30回日本クラシック音楽コンクール第1位。
No. 140 太田 糸音 (ピアノ)		9/24	192	94.1%	第8回仙台国際音楽コンクール第3位。
No. 141 黒木 雪音 (ピアノ)		12/10	164	82.0%	ダブリン国際ピアノコンクール第1位。 リスト国際ピアノコンクール第1位。
No. 142 石井 希衣 (フルート)		2/18	173	86.5%	神戸国際フルートコンクール第3位。

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	入場率	内容
アクト・プレミアム・シリーズ (一流演奏家によるコンサートシリーズ。コンサートホールである中ホールで開催するプレミアムなコンサートを展開)					
Vol. 31 ネマニャ・ラドゥロヴィチ (ヴァイオリン) presents ドゥーブル・サンズ (弦楽合奏&ピアノ/ チェンバロ)	アクトシティ浜松 中ホール	4/25	604	59.9%	ハノーファー国際コンクール他5つの コンクールで第1位を獲得した世界的 に活躍するヴァイオリニストと室内楽 団「ドゥーブル・サンズ」によるコン サート。
Vol. 32 藤村実穂子 (メゾソプラノ)		10/2	309	30.7%	欧州で「現在世界最高のメゾの一人」 と評価を受けるメゾソプラノ歌手。 2022年にはソリストとして参加したマ ーラー「千人の交響曲」が米グラミー 賞を受賞した。
Vol. 33 アリス=紗良・オット (ピアノ&映像)		12/1	566	56.2%	大人気ピアニスト、アリス=紗良・オッ トによる、現代曲と映像の世界。
Vol. 34 ハンスイェルク・シェレン ベルガー&マルギット= アナ・シュース (オーボエ&ハーブ)		2/2	282	28.0%	ともにベルリン・フィルで活躍した世界 最高峰のオーボエ奏者、シェレンベル ガーと「ハーブの女王」アナ・シュース 夫妻による共演。
Vol. 35 ジャン=エフラム・バヴゼ (ピアノ)		3/18	362	35.9%	欧州を中心に活躍するフランス人ピア ニスト。
The Road to 2027 プロジェクト in 浜松 仲道郁代ピアノ・リサイタル					
Vol. 7 「劇場の世界」	アクトシティ浜松 中ホール	5/13	484	48.0%	浜松出身の日本を代表するピアニ スト、仲道郁代が自身の演奏活動40周 年となる2027年に向けて取り組むリサイ タル・シリーズ。
Vol. 8 「ブラームスの想念」		10/15	466	46.2%	
富士山静岡交響楽団 定期演奏会 浜松公演					
第118回	アクトシティ浜松 中ホール	5/28	467	46.3%	指揮：キンボー・イシイ ピアノ：小山実稚恵
第119回		6/25	368	36.5%	指揮：高関健 ヴァイオリン：三浦文彰
第120回		7/16	329	32.6%	指揮：太田弦 チェロ：鳥羽咲音
第121回		9/17	565	56.0%	指揮：ユベール・スダーン
第122回		11/19	350	34.7%	指揮：高関健 ピアノ：伊藤恵
新日本フィルハーモニー 交響楽団 オーケストラ・キャラバン 藤岡幸夫 (指揮) / 周防亮介 (ヴァイオリン)	アクトシティ浜松 中ホール	5/31	597	59.2%	文化庁文化芸術振興費補助金 (ア ート・キャラバン2) によるオーケストラ 公演 主催：日本オーケストラ連盟、新日本 フィルハーモニー交響楽団

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	入場率	内容
ディズニー・オン・クラシック ～夢とまほうの贈りもの2023	アクトシティ浜松 大ホール	6/11	1,382	62.3%	ディズニー音楽を、物語を紡ぐ映像とともに、日本人ヴォーカリストとオーケストラの生演奏でお贈りする。 共催：K-MIX、Daiichi-TV
パレルモ・マッシモ劇場 「ラ・ボエーム」	アクトシティ浜松 大ホール※	6/21	717	55.2%	イタリア・オペラを代表する作曲家、プッチーニが19世紀前半のパリに集った貧しくも自由に生きる若き芸術家たちの生活を描く傑作オペラ。 共催：コンサート・ドアーズ
歌舞伎プレセミナー	アクトシティ浜松 コンgresセンター 41 会議室	6/24	79	52.7%	松竹大歌舞伎に先駆け、歌舞伎の基礎知識やみどころを分かりやすく解説するセミナーを開催。 講師：葛西聖司
シルヴァン・カンブルラン指揮 ハンブルク交響楽団 ピアノ：角野隼斗	アクトシティ浜松 大ホール	7/14	1,915	82.6%	巨匠シルヴァン・カンブルランとドイツ・ハンブルクの名門オーケストラの協演。ピアノは YouTuber 「かていん」としての活動も話題となっている角野隼斗が登場。 共催：日本アーティスト
国府弘子の ファンタスティック 8	アクトシティ浜松 中ホール	7/17	485	51.1%	日本のジャズ&フュージョン界のトップランナー、国府弘子と7人の仲間たちが贈る特別なジャズコンサート。
第17回浜松いわた信用金庫 「夢に追いかぜコンサート in 浜松」	アクトシティ浜松 中ホール	7/23	867	86.7%	毎年恒例のファミリーを対象としたクラシックコンサート。 共催：浜松いわた信用金庫、(公財) 浜松交響楽団
アクトシティ能・狂言 イベント 「能・狂言 とっておきの 楽しみ方」	アクトシティ浜松 コンgresセンター 41 会議室	8/13	116	82.9%	「アクトシティ能・狂言」公演に先駆け、能・狂言の世界をより楽しめる鑑賞講座を開催。 講師：観世喜正(能) 石田幸雄(狂言)
松竹大歌舞伎	アクトシティ浜松 大ホール※	9/5	644	21.5%	恒例の歌舞伎巡業公演。公演前には歌舞伎の世界をより楽しめる鑑賞講座を開催。
オスロ・フィルハーモニー 管弦楽団 クラウス・マケラ指揮 辻井伸行ピアノ	アクトシティ浜松 大ホール	10/20	1,423	63.5%	オスロ・フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者、パリ管弦楽団音楽監督に就任した若き天才指揮者、クラウス・マケラと辻井伸行の協演。 共催：静岡朝日テレビ
ジブリの思い出がいっぱい ～オーケストラによる ドリームコンサート 2023～	アクトシティ浜松 中ホール	10/28	716	73.2%	心に響くジブリの思い出の名曲をオーケストラとともにお届けする。 共催：サモン・プロモーション

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	入場率	内容
華麗なるフランス音楽の夕べ 名門パリ管弦楽団メンバー	アクトシティ浜松 大ホール※	11/20	478	31.3%	フランスが世界に誇るナショナルオーケストラとして、1967年に結成されたパリ管弦楽団からトップソリストらが集結したメンバーによる演奏会。 主催：music まつや
東京バレエ団 「眠れる森の美女」	アクトシティ浜松 大ホール	11/23	1,497	80.3%	東京バレエ団の新作初演公演。 古典バレエの最高峰として名高いチャイコフスキー「眠れる森の美女」を新たな演出として披露した。 主催：日本バレエ団連盟、日本舞台芸術振興会
東アジア文化都市 2023 静岡県 クライマックス公演 「歓喜に至れ！ ～ベートーヴェン 「第九」による～」	アクトシティ浜松 中ホール	12/3	1,000	97.7%	ベートーヴェン第九交響曲（リスト編曲）をベースに新しい舞台を創作した公演。 主催：歓喜に至れ！実行委員会、東アジア文化都市 2023 静岡県実行委員会
野村萬斎監修 アクトシティ能・狂言	アクトシティ浜松 大ホール	12/17	1,522	88.4%	3年毎に開催している大人気狂言師、野村萬斎による浜松オリジナル演出の能・狂言公演。 公演前には能・狂言の世界をより楽しめる鑑賞講座を開催。
ディズニー・オン・クラシック ～まほうの夜の音楽会 2023	アクトシティ浜松 大ホール	12/24	2,169	96.8%	ディズニー音楽を、物語を紡ぐ映像とともに、日本人ヴォーカリストとオーケストラの生演奏でお贈りする。 共催：K-MIX、Daiichi-TV
小林紀子バレエシアター 「バレエダブルビル」	アクトシティ浜松 大ホール※	1/24	334	24.3%	シンデレラ&英国バレエのトレードマークである豊かな感情表現とウィット、相性抜群のプログラム 2 本立て公演。 主催：日本バレエ団連盟、小林紀子バレエシアター
石田組 2023/2024 アルバム記念ツアー	アクトシティ浜松 大ホール	3/3	1,584	76.5%	神奈川フィルほかでコンサートマスターを務めるヴァイオリニスト石田泰尚が結成した弦楽アンサンブル。 主催：キョードー東京、テレビ静岡
東京バレエ団 特別公演 「上野水香オン・ステージ」 in 浜松	アクトシティ浜松 大ホール	3/30	1,476	79.1%	日本を代表するプリンシパル上野水香による 2023 年紫綬褒章受章記念公演。 主催：日本舞台芸術振興会
須川展也デビュー40周年 記念コンサート	アクトシティ浜松 大ホール	3/31	1,782	79.6%	浜松出身の世界的サクソフォーン奏者、須川展也のデビュー40周年記念公演。
合 計		37事業	26,824	64.2%	

※大ホール中規模利用

(2) 芸術文化事業の調査、情報収集及び情報提供

① 事業総括

令和5年度は、従来のテレビや新聞、財団情報誌に加え、SNS等を積極的に活用して最新の情報を発信するとともに、チケットの販売促進を目的としてインターネット広告を実施しました。

アクトシティ浜松友の会においては、会員の皆様に多彩な公演をお届けするため、様々なジャンルのチケットを取り扱うとともに、浜松市北遠地域での取り扱い拠点として、天竜壬生ホールでもチケットの販売及びチケットの引換えを開始しました。また、オンラインショップや電子チケット、キャッシュレス決済の導入などITサービスの利用を促進し、芸術文化をより気軽に親しむことができる環境整備の充実を図りました。

また、浜松市域で行われる芸術文化活動を支援するため、市民や民間による事業でも上記ITサービスの活用を図るとともに、イベントカレンダーやWebによる広報協力を展開しました。

② 重点的に取り組んだ事項

- ・インターネット広告を行うにあたり、チケット購入に至るまでの行動パターンを分析・検証するため、掲載地域・対象者・時間・広告内容を試しながらデータの収集を行いました。令和6年度も引き続き広告掲載、データ収集を行い、分析・検証の精度を高めます。
- ・文化情報誌「HCF News」では、インタビューやギャラリートークなど現場に密着した情報の発信を行い、音楽のみならずアートをはじめとした多彩な活動に関する取り組みを紹介しました。
- ・各事業や施設においてSNS（Facebook、X、Instagram等）を積極的に活用し、イベントの開催情報や各館の取り組み、財団の活動を身近に感じていただける情報提供に努めました。
- ・アクトシティ浜松友の会では、世代を超えた多くの会員に多彩なジャンルの公演を鑑賞していただくため、他団体主催の公演や「大河ドラマ館」「浜名湖花博」のチケットを取り扱うとともに、会員限定コンサートを実施し、サービスの向上に努めました。
- ・オンラインショップでは、利便性を向上させるため、購入履歴を確認できるマイページを導入し、チケット引換え番号や決済方法、席番などの確認を可能にしました。

ア アクトシティ浜松友の会「ビバーチェクラブ」の運営

(ア) 友の会会員数

()内は前年度実績

内 訳		人 数 (人)	
全会員数 (令和6年3月31日現在)		4,930	(4,842)
内、令和5年度新規入会者	オンライン入会	389	(445)
	オンライン入会	289	(350)
	窓口入会	100	(95)

(イ) 友の会会員限定コンサートの開催

事業名	会場	開催日	応募状況(席)	入場者数(人)
石井克典トーク&コンサート	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	9/22	応募 345 当選 225	177

イ 広報活動

活動名	内容
財団公式ホームページサイト管理運営	https://www.hcf.or.jp/ 企画事業及び財団所管施設の紹介のほか、法人としての最新情報やお知らせを発信。
SNSによる情報発信	YouTube や SNS (Facebook、X、Instagram) を活用した広報活動を展開。
情報誌「HCF News」の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・財団事業、浜松市内で活動する文化団体、浜松市内の飲食店等についての記事を掲載。 ・年4回発行（令和6年3月末時点で第52号まで発行）、発行部数11,000部。 ・電子書籍による公開も行っている。
財団事業活動報告書及び活動紹介映像の制作	令和4年度事業活動報告書の発行・配布のほか、活動紹介映像を制作およびWeb上で公開。
事業の広報	<ul style="list-style-type: none"> ・事業のチラシ・ポスター等の製作、配布及び各種広告・広報媒体へ情報を掲出。 ・インターネットによる検索連動型広告やディスプレイ広告による広報活動。
デジタルサイネージの活用	アクトシティ内財団事務室、市民ロビー他での映像による事業広報を行う。
アクトシティ浜松 イベントカレンダーの発行	<ul style="list-style-type: none"> ・発行部数10,000部、隔月発行。 ・市内主要文化施設、協働センター、ショップ等へ配布。

ウ HCF オンラインショップの運営

オンラインによるチケット販売（委託販売を含む）及び財団作成CD・DVD・書籍・記念商品等の販売
【取扱商品】

- ・市内文化団体自主イベント、市内外施設公演及び財団主催公演のチケット
- ・浜松国際ピアノコンクール関連製品（CD）
- ・浜松市楽器博物館製作のCD・DVDコレクション
- ・浜松文芸館出版書籍

エ アクトシティ浜松 インフォメーション・チケットセンターの運営

- ・アクトシティ施設案内、公演情報の提供
- ・財団のチケット販売専用端末の設置及びチケットの販売（主催公演及び一般からの受託公演）
- ・アクトシティ友の会会員のチケット販売及び引換

【参照】

(ア) チケット及びグッズ取扱の実績

() 内は前年度実績

		注文件数 (件)	販売枚数 (枚)	販売金額 (円)	取扱公演数 (件)
一般販売	店頭	7,736 (6,228)	15,168 (12,228)	42,683,040 (34,440,460)	372 (325)
	オンライン	4,062 (2,958)	7,366 (5,525)	33,463,580 (22,425,010)	
	合計	11,798 (9,186)	22,534 (17,753)	76,146,620 (56,865,470)	
友の会販売	電話	3,147 (3,103)	4,741 (4,717)	26,164,320 (27,701,360)	145 (124)
	店頭	1,022 (696)	2,436 (1,543)	5,669,850 (3,496,570)	
	オンライン	4,890 (4,590)	8,180 (7,962)	45,662,070 (49,268,020)	
	合計	9,059 (8,389)	15,357 (14,222)	77,496,240 (80,465,950)	
総合計		20,857 (17,575)	37,891 (31,975)	153,642,860 (137,331,420)	
内キャンセル公演分		—	0 (159)	0 (1,021,200)	—

(イ) グッズ (書籍・CD など) 販売

() 内は前年度実績

	注文件数 (件)	販売金額 (円)
グッズ販売 (店頭・オンライン)	29 (34)	130,035 (196,325)

(3) 芸術文化活動の支援及び交流の促進

① 事業総括

市民の日ごろの活動成果の発表と市民文化団体間の交流を目的として浜松市民文化フェスティバルと浜松市芸術祭演劇部門を、各団体と協力・連携を図りながら開催しました。

また、市民の芸術鑑賞機会と地域の演奏家の演奏機会をマッチングする演奏者派遣事業では、市内の小学校や介護施設などで、市民企画のコンサートとして計66回開催されました。

吹奏楽における先進都市として全国に発信する「バンド維新」では、市内中高生が作曲家から直接指導を受け、新曲への取り組みや作曲家との交流を通じてさらなるレベルアップを図りました。

市民の自主的な文化活動を支援する浜松アーツ&クリエイションでは、創造性あふれる取り組みに対して、浜松市創造都市推進事業補助金に関する業務等を通じて伴走支援するとともに、市民の創造的な活動の実態調査や支援セミナーの開催に取り組みました。また、ホームページやSNSを活用して活動者の情報発信をするなど側面支援も行いました。

② 重点的に取り組んだ事項

- ・浜松市民文化フェスティバルは、吹奏楽や邦楽など全12部門が参加しました。特にジュニア部門は、宝塚市との音楽都市交流事業の一環として取り組み、宝塚ベガジュニアアンサンブルと市内の団体が演奏交流を行いました。
- ・浜松アーツ&クリエイションでは、創造都市推進事業補助金として15件を採択し伴走支援を行いました。また、市内の創造的活動の実態調査や相談対応を行うとともに、調査で得た課題の解決に向けた5つの講座を開催しました。さらに、市民活動を紹介するデータベースをより検索しやすくするなど利便性も高めました。
- ・市民の自主的な文化芸術活動を支援する、はままつ文化芸術活動助成事業は、採択した24事業に対して助成金による資金援助を行うとともに、情報発信やチケット販売促進などの側面支援も行いました。
- ・静岡県との共催事業「富士山静岡交響楽団公演～0歳から入れるクラシックコンサート」では、オーケストラの演奏に歌と手遊びを交え、童謡やアニメの曲も演奏し、親子で一緒にオーケストラを身近に感じてもらう機会としました。
- ・官民一体となって開催されたハママツ・ジャズ・ウィークは、今回初めて特別支援学校での出前ジャズコンサートを実施しました。また、ストリートジャズフェスティバルの会場に、大河ドラマ「どうする家康」で盛り上がる葵広場を加えるなど、浜松市民だけでなく全国から集まるお客様も巻き込む形で開催しました。

ア 文化振興事業

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内容
第53回 日本吹奏楽指導者クリニック	アクトシティ浜松	5/19～21	806 (受講者数)	学校及び一般吹奏楽指導者を対象とした講座・コンサート・バンドフリーマーケットの総合講習会。 主催：日本バンドクリニック委員会 優待券コンサート入場者：877人 (3日間合計)

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内容
第69回浜松市芸術祭 演劇・人形劇部門				
演劇オムニバス公演	鴨江 アートセンター	10/7・8	110	市内の演劇愛好者が企画・運営に参画し、市民劇団の舞台公演を中心にワークショップや招聘公演を開催。
人形劇公演	クリエート浜松	11/5	216	
演劇自主公演 劇団からっかぜ	クリエート浜松 ホール	12/3	230	
演劇自主公演 MUNA-POCKET COFFEEHOUSE	なゆた浜北ホール	12/9・10	520	
演劇自主公演 シニア劇団浪漫座	勤労会館ホール	12/17	350	
演劇自主公演 といしば企画	浜北文化センター 小ホール	12/24	191	
高校演劇選抜公演	勤労会館ホール	1/13・14	292	
演劇ワークショップ	浜北文化センター 小ホール	1/28	50	
浜松市民文化フェスティバル 2023				
展示部門 「絵・写・書・茶・花」展※	クリエート浜松	8/18～20	—	市民文化団体による音楽・舞踊公演及び作品発表。多彩なジャンルの団体が日ごろの研鑽の成果を発表。 (※クリエート浜松が主管)
民踊と舞踊の集い	アクトシティ浜松 大ホール	9/16	550	
特別支援学校作品展	アクトシティ浜松 市民ロビー	9/16～18	—	
第16回吹奏楽 トップコンサート	アクトシティ浜松 大ホール	9/17	2,073	
浜松おどり	アクトシティ浜松 大ホール	9/18	400	
邦楽演奏会	アクトシティ浜松 中ホール	9/18	790	
バレエ・ダンスの祭典	アクトシティ浜松 大ホール	10/8	800	
浜松市民合唱祭 2023	アクトシティ浜松 中ホール	10/22	1,200	
浜松市中学校総合文化祭 ステージ部門	サーラ音楽ホール	11/18	800	
ジュニア部門	サーラ音楽ホール	11/19	550	
詩吟・琵琶演奏会	Uホール	11/19	250	
浜松市中学校総合文化祭 展示部門	クリエート浜松	11/21～26	—	

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内容
第 66 回 中部日本吹奏楽コンクール 本大会	アクトシティ浜松 大ホール	9/30・10/1	4,650	静岡・愛知・岐阜・三重・長野・滋賀・ 福井・石川・富山の中学・高等学校吹奏 楽部代表によるコンクール。 共催：中日新聞社、浜松市
第 31 回 ハママツ・ジャズ・ウィーク	アクトシティ浜松 他	10/14～22	18,226	ジャズの恒例イベント。浜松市がジャズ 一色になるほど多数のイベントを開催。 今回初めて、特別支援学校で出前ジャズ コンサートを実施。ヤマハジャズフェス ティバルは事前に完売となったが、出演 者の渡辺貞夫さんが体調不良のため出演 取消のため、一部払戻の対応実施。 共催：浜松市、ヤマハ株式会社、静岡新 聞社・静岡放送、ヤマハ音楽振興会
東京藝術大学 早期教育プロジェクト in 浜松	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	11/11・12	受講者数 11	東京藝術大学と地域とが協働して取り組 む逸材発掘プロジェクト。 主催：東京藝術大学
0歳から入れる クラシックコンサート 「3大バレエを聴こう！」	浜北文化センター 大ホール	12/3	816	富士山静岡交響楽団による幼児と保護者 向けの演奏会。 共催：静岡県、静岡県文化財団
バンド維新 2024	アクトシティ浜松 中ホール	3/17	715	作曲家が新曲を制作しながら、市内の学 生吹奏楽団に曲解指導と初演を実施する 吹奏楽作曲事業。
演奏者派遣事業	市内小学校 商業施設 他	66 回	—	コンサートを主催したい施設・団体の運営 サポートを行うとともに、地域の演奏家に 活動の場を提供。
合 計		27 事業	34,596	

イ 浜松アーツ&クリエイション事業

(ア) 浜松市創造都市推進事業補助金に関する業務

事業名	実施内容	期間	件数 (件)	内容
浜松市創造都市推進事業補助金に関する業務	事前相談	4/1～28	39	浜松市創造都市推進事業補助金について、申請に関する相談を受け付け。
審査支援業務	一次審査 (書類審査)	5/16	31	応募件数：31件 一次審査通過：17件
	二次審査 (プレゼンテーション)	6/16・17	17	採択件数：15件（市民活動団体枠12件、アーティスト枠2件、企業枠1件）
採択者への伴走支援	各採択団体の支援	7～2月	—	各団体の活動準備状況確認、個別の相談に対応、マスメディアへの情報提供、掲載依頼等。

(イ) 浜松市民の文化活動・創造的な活動の調査および支援

事業名	期間	件数 (件)	内容
ヒアリング調査	通年	80	市内で文化活動・市民活動をしている方を対象としたヒアリング。
調査研究	通年	11	企業から見た芸術文化活動についての調査。
文化活動視察	通年	34	浜松市内外で行われている事業を視察。
一般の相談対応	通年	27	採択事業を問わず、広く市民からの文化創造活動の相談に対応。 (電話・メール・リモート・対面)
合計	4事業	152	

(ウ) 浜松市民活動支援事業

事業名	会場	開催日	参加者数 (人)	内容
文化芸術活動ビルドアップ講座				
ラウンドテーブル	アクトシティ浜松 研修交流センター	11/26	7	講師：清宮陵一
創造都市・浜松における アート活動のいまとこれから	ときはまスクエア	12/3	16	講師：清宮陵一、米澤浩祐、 橋本成美
祭りが産み落とされるとき	アクトシティ浜松 研修交流センター	1/14	21	講師：清宮陵一、根木龍一、 DJ sleeper
生きている広報と記録	アクトシティ浜松 研修交流センター	1/28	24	講師：清宮陵一、冠那菜奈、 川村庸子
宇宙 日本 浜松	アクトシティ浜松 研修交流センター	2/11	22	講師：清宮陵一、芹沢高志
アーティストマッチング 「アクト・アート・ストリート」	ACT PLAZA LOUNGE	1/22～ 2/4	—	フリーラウンジを利用したアートを身近に感じる企画。市内で活動するアーティストによる作品展示や交流会を実施した。
合計		6事業	90	

(エ) 情報発信事業

事業名	内容
公式ホームページサイトの管理運営	浜松市創造都市推進事業補助金採択事業や浜松市内における芸術文化活動の担い手等を紹介。
SNS による情報発信	SNS (Facebook、Instagram、X) を活用して、補助金採択事業や浜松アーツ&クリエイションの活動を紹介。
News Letter の発行	Vol. 13～16 発行。各 4,000 部

ウ はままつ文化芸術活動助成事業

文化団体自ら企画運営する創造的な文化活動で、その成果が浜松の文化に還元される事業を支援助成する制度。年 2 回募集。助成金額：上限 10 万円。

() 内は前年度実績

	申請件数 (件)	採択件数 (件)
第 1 回募集 (令和 5 年 1 月実施)	26 (46)	14 (17)
第 2 回募集 (令和 5 年 7 月実施)	28 (29)	10 (7)
合計	54 (75)	24 (24)

採択事業 (令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月開催分)

事業名	会場	主催者名	開催日	内容	助成金 (円)
ポーランド少年少女舞踊団招聘事業	浜松市内各所	ポーランド市民交流友の会	4/11～16	招聘したポーランドの子ども達が地元の学校行事に参加し国際交流を行う事業。	100,000
浜松少年少女合唱団創立 25 周年記念第 23 回定期演奏会	アクトシティ浜松中ホール	浜松少年少女合唱団	4/30	創立 25 周年記念の特別企画が盛り込まれた定期演奏会。	100,000
浜松トロンボーンフェスティバル 2023	クリエート浜松	浜松トロンボーン協会	5/7	トロンボーン愛好家が交流と技術の向上を目的に中高生によるコンペティション、講座、コンサートを開催。	100,000
オーケストラあんふあん×COC∞TO 1st コンサート	クリエート浜松	中山琴香	5/14	ピアニストの中山琴香があんふあんオーケストラとともに開催する親子コンサート。	100,000
Mika Live	クリエート浜松	MIKA 企画	5/28～2/11	様々な音楽ジャンルのアマチュア演奏家達が集まり、企画から運営まで行うアコースティックライブ。	40,000
浜松混声合唱団演奏会	アクトシティ浜松中ホール	浜松混声合唱団	6/24	混声合唱団による定期演奏会。浜松にゆかりある演奏者を招く。	100,000

事業名	会場	主催者名	開催日	内容	助成金 (円)
第23回サザンクロス の音楽会 2023	砂山銀座 サザンクロス 商店街	サザンクロス の音楽会 実行委員会	7/30	砂山銀座サザンクロス商店街活性化と音楽の都・浜松のまちづくりのためコンサートを開催。	70,000
MIMOSA と ゆかいな仲間たち Vol. 5 オペラ 「ヘンゼルとグレーテル」	クリエート浜松	MIMOSA	8/10	親子で音楽を気軽に楽しんでもらうため、わかりやすく親しみやすい題材でオペラを開催。	100,000
男声合唱団オーロラ 創立21周年記念演奏会	アクトシティ浜松 中ホール	男声合唱団 オーロラ	8/26	浜松の音楽文化振興のため活動している男声合唱団によるコンサート。	100,000
音楽劇「晩夏奇譚」	アクトシティ浜松 中ホール	Artisan (アルティザン)	8/27	「朗読劇」「演劇」「落語」の3つの話からなるオムニバス形式の音楽会。	100,000
ロストアンドファインド	龍山秘密村	ロストアンド ファインド	10/21・ 22	浜松市天竜区のキャンプ場を利用した野外電子音楽公演会。	100,000
ミングルビレッジ 2023	雄踏総合公園 芝生広場	ミングル ビレッジ 実行委員会	10/28	音楽・映像ステージ、ワークショップ、アウトドアアクティビティ等、多数の文化要素を楽しめるイベント。	100,000
廣瀬可帆&長岡瑠奈 CLARINET DUO CONCERT	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	廣瀬可帆	10/29	浜松出身のクラリネット奏者2名、ピアニスト1名によるクラシックコンサート。	100,000
第3回 日本のこころ ～箏のしらべ～	福祉交流センター	浜松ジュニア・ ユース 邦楽合奏団	11/4	総勢50名の箏愛好家が集う浜松ジュニア・ユース邦楽合奏団による演奏会。	100,000
浜松マンドリン オーケストラ 第48回定期演奏会	アクトシティ浜松 中ホール	浜松マンドリン オーケストラ	11/5	昭和46年から続く浜松マンドリンオーケストラによる定期演奏会。	100,000
浜松スイングバンド 結成60周年コンサート	福祉交流センター	浜松スイング バンド	11/26	浜松市内で長く活動続ける浜松スイングバンドの結成60周年記念コンサート。	100,000
おさんぽリトミック ファミリーコンサート	サーラ音楽ホール 多目的室2	おさんぽ リトミック	11/26	親子でリトミックを楽しめる参加型コンサート。	100,000
2023 水彩グループ合同展	クリエート浜松 ギャラリー	水彩グループ 合同展	12/4～ 10	浜松市をはじめとする県西部で活動する約30の水彩画教室による合同水彩画展。	87,929
アウローラ・フィル ハーモニック管弦楽団 第2回演奏会	アクトシティ浜松 中ホール	アウローラ・ フィルハー モニック 管弦楽団	1/14	静岡県西部のアマチュア管弦楽団の有志によって結成したアウローラ・フィルハーモニック管弦楽団の演奏会。	100,000
Flute Ensemble Liberte コンサート	かじまち ヤマハホール・ 浜松地域情報 センター	Flute Ensemble Liberte	3/16・17	浜松出身のフルーティスト達によるアンサンブルコンサート。	100,000

事業名	会場	主催者名	開催日	内容	助成金 (円)
劇団たんぽぽ 新作公演 「くろいりんごと きいろいそら」	浜北文化センター	(公社) 教育 演劇研究協会	3/17	劇団たんぽぽによる児童青 少年向けの演劇公演。	100,000
THE FOCUS 感謝祭 2023	引佐総合体育館	THE FOCUS	3/17	浜松を中心に活動するマー チング団体の定期演奏会。	100,000
第21回「お話と演奏の会」 民謡覚え書き	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	第21回「お話 と演奏の会」 実行委員会	3/17	民話の語り・日本歌曲歌唱・ 和楽器演奏を通じて民謡作 品の魅力を伝えるコンサ ート。	100,000
第11回 浜松ワールドミュージック フェスティバル	クリエート浜松	(特非) 浜松 ミュージック・ アート少年団	3/17	様々なジャンルの音楽を通 じて、国によって異なるリ ズムを体感できる参加型音 楽祭。	100,000
合 計			24 事業		2,297,929

エ 浜松市内文化団体・文化協会

(ア) 浜松市浜松文化協会

合併前の旧浜松市で活動する主要な文化団体によって構成され、各団体の活動状況の把握や意見調整等を行う。

第1回 令和5年7月28日 会場：クリエート浜松

第2回 令和6年1月15日 会場：クリエート浜松

(イ) 浜松市内文化協会連絡会

合併後、浜松市となった地域の文化協会（11 団体）によって構成され、広域となった市の文化状況を把握するとともに、支援を行う。

第1回 令和5年6月22日 会場：浜松市天竜壬生ホール

第2回 令和5年12月4日 会場：浜松市浜北文化センター

(ウ) 浜松市内文化協会助成金

浜松市内文化協会連絡会に加盟する文化協会 11 団体が実施する文化活動に対し、最大 15 万円を助成する制度。

採択事業（令和5年4月～令和6年3月開催分）

事業名	会場	主催者名	開催日	内容	助成金 (円)
第19回天竜芸術祭 芸能発表会	天竜壬生ホール	天竜 文化協会	10/29	天竜地区で活動する文化活 動団体や市民芸術愛好者に よる発表。	149,997
浜北区児童・生徒の絵画・ 書道作品展	プレ葉ウォーク 浜北	浜北 文化協会	11/3～5	浜北区内の児童・生徒の絵画 及び書道作品を募集・展示。	150,000
第61回浜松市細江文化祭 芸能発表会	みをつくし 文化センター	細江 文化協会	11/3	文化協会会員による写真・絵手 紙・書道・絵画等を展示。	150,000

事業名	会場	主催者名	開催日	内容	助成金 (円)
春野文化展 第50回記念 津軽三味線コンサート	春野文化センター	春野 文化協会	2/3	センターまつり 50周年を記念して浜松在住、中村祐太氏のコンサートを開催。	104,650
会報「いのはな」発行	—	三ヶ日 文化協会	—	三ヶ日文化祭を中心に文化協会の活動実績を掲載。	150,000
合 計			5事業		704,647

オ インターンシップ実習受入

市内や静岡県内外の大学生を中心に受入。所管施設での受入は各所管施設にて報告。

期間：令和5年8月17日～9月24日

文化事業課受入人数：5人（3大学）

(4) 浜松市の行う芸術文化事業の受託と協力

① 事業総括

「音楽の都・浜松」を目指して、次の時代を担う人材の育成や、まちなかコンサート、浜松国際ピアノコンクールの関連事業などを浜松市とともに取り組みました。

次代を担う人材育成事業としては、ジュニアオーケストラ浜松やジュニアクワイア浜松、アクトシティ音楽院のほか、小学5年生全員がアクトの大ホールでオーケストラを鑑賞する事業を行いました。

また浜松吹奏楽大会では、全国から選抜された中高生吹奏楽団が集い、技術レベル向上と生徒・指導者間の交流を行うことができました。

プロムナードコンサートをはじめとした、まちなかコンサート事業では大河ドラマなどで浜松市を訪れた方に、「音楽の都・浜松」をアピールすることができました。

令和6年11月に開催する浜松国際ピアノコンクールに関連した事業として、世界の音楽コンクールの関係者が集う世界連盟総会の本市での開催や、前回優勝者であるジャン・チャクムルのロンドンリサイタルを通して、コンクールの海外PRを行うとともに、出場者の募集を開始しました。

② 重点的に取り組んだ事項

- ・ジュニアオーケストラ浜松とジュニアクワイア浜松は、日ごろの練習の成果を、9月の定期演奏会と3月のスプリングコンサートで披露することができました。また、コロナ禍が明け、演奏依頼も昨年度に比べ増えました。
- ・アクトシティ音楽院では、世界に羽ばたく音楽家の育成を目的に、浜松国際管楽器アカデミー&フェスティバルや、浜松国際ピアノアカデミーを開催しました。また市民向け事業として、指導者を学校などに派遣する事業や、音楽院の修了生が小学校などでコンサートを行う事業を展開しました。
- ・こども音楽鑑賞教室は、学校での音楽の授業との連携や、オーケストラに合わせた手拍子、「浜松市歌」の全員合唱など、浜松市ならではのオリジナルプログラムにより、音楽やオーケストラへの関心を促すとともに、鑑賞マナーについても学習しました。
- ・浜松国際ピアノコンクール事務局がホストとなった世界コンクール連盟総会には、国内外の著名なコンクールの主催者・担当者91名が浜松に集い、コンクール運営についての意見交換や、日本文化体験などを通じての交流を深めました。
- ・浜松国際ピアノコンクールのPRを目的に開催したイギリス・ロンドンでのジャン・チャクムルのリサイタルには、多くのメディアが来場し、取材記事がヨーロッパの音楽Webサイトに掲載されるなど、国外への効果的な情報発信が展開できました。

ア パイプオルガン関連事業

事業名	会場	開催日	入場者数(人)	内容
オルガンミニコンサート	アクトシティ浜松 中ホール	6/16 8/19 11/9 2/9	190 330 261 203	アクトシティのパイプオルガンと中ホールを多くの市民に知っていただくための無料の短時間コンサート。
第13回 オルガンのパイプを作ってみよう!	アクトシティ浜松 中ホール コングレスセンター 43・44会議室	8/14	16	夏休みの小・中学生向けワークショップ。オルガンの音の鳴る仕組みを学びながら、紙でパイプを作成。

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内容
オルガン演奏会事業	福祉交流センター	4回	464	福祉交流センターのパイプオルガンを通じて、市民のオルガンに対する理解や関心を深める。(5/24は出演者都合により開催中止)
合 計		3事業	1,464	

イ まちなかコンサート開催事業

事業名	会場	開催回数	入場者数 (人)	内容
プロムナードコンサート	JR 浜松駅 北口広場 「ギター」他	18回	7,400	浜松市内の学校及び一般の吹奏楽演奏団体が出演する無料イベント。市民に発表・鑑賞・交流の機会を提供。(4月～11月の24回予定のうち雨天による中止6回) 協力：浜松市吹奏楽連盟
街かどコンサート	ギャラリーモール 「ソラモ」	1回	600	市内で活動する合唱団が出演する屋外コンサート。 協力：浜松市合唱連盟
まちなかにぎわい コンサート	JR 浜松駅 北口広場 「ギター」他	4回	1,250	市内音楽愛好家団体が公演をプロデュース。合唱・ジャズ等の多彩なジャンルの団体が出演する無料イベント。(5月～11月の5回予定のうち雨天による中止1回)
合 計		3事業	9,250	

ウ ジュニアオーケストラ浜松 (J0)・ジュニアクワイア浜松 (JC) 運営事業

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内容
団員募集・定期練習	市内諸施設	通年 (週1回)	団員数 J0:87 JC:50	
ジュニアクワイア浜松 第29回定期演奏会	アクトシティ浜松 中ホール	9/3	518	団員の募集・育成・公演をマネジメント。音楽を通じて、豊かな感性を備え、文化的視野を持った青少年の育成。アフターコロナで練習にも活気が戻り、演奏会においても多くのお客様が来場した。
ジュニアオーケストラ浜松 第29回定期演奏会	アクトシティ浜松 中ホール	9/10	785	
スプリングコンサート2024	アクトシティ浜松 大ホール	3/10	1,200	
その他の演奏事業	浅間小学校	6/5	95	ジュニアクワイア体験会。 (対象：浜松市立浅間小学校4年生)
	アクトシティ浜松 大ホール	6/21	—	パレルモ・マッシモ劇場「ラ・ボエーム」に 団員27名が出演。(JC)
	可美公園総合 センターホール	6/25	—	台南市立東區復興國小弦樂團・ジュニアオー ケストラ浜松の交流演奏会。(J0)
	アクトシティ浜松 大ホール	7/1	—	浜松市市制施行112周年記念式における記念 コンサートに出演。(J0・JC)
	ソラモ	8/15 <u>中止</u>	—	2023プラタナスコンサートに出演予定であつ たが、台風のため中止。(JC)
	クリエート浜松	8/20	—	クリエートの夏まつりに団員7名(金管アン サンブル)が出演。(J0)
	グランドホテル 浜松	11/1	—	指定都市小学校長会研究協議会浜松大会歓迎 レセプションに団員32名が出演。(JC)
	札幌コンサート ホール Kitara	11/3~5	—	音楽文化都市交流事業(札幌市)さっぽろスク ール音楽に団員28名が出演。(JC)
	オークラアクト シティホテル浜松	12/3	—	東アジア文化都市2023 静岡県「ふじの式典」 の依頼演奏に団員35名が出演。(JC)
	はままつ フラワーパーク	12/3・17	—	フラワーパーククリスマスコンサートの依頼 演奏に出演。(12/3: J0、12/17: J0・JC)
	浜松科学館	12/9	—	MATH やらまいか決勝大会の依頼演奏に団員4 名が出演。
	オークラアクト シティホテル浜松	12/24	—	クリスマスロビーコンサートに両団員33名 が出演。(J0・JC)
	イオンモール 浜松市野	2/25	—	イオン市野のシンフォニーコートでのコンサ ートに団員30名が出演。(JC) 団の紹介や団員募集の呼びかけを行った。
浜松市楽器博物館	3/17	—	楽器博物館「音楽の広場」での依頼演奏に金管 セクションの団員が出演。(J0)	
合計		5事業	2,598	

エ 浜松吹奏楽大会 2024 事業

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内容
地域交流プログラム	市内中学校	3/23～25	560	吹奏楽の普及とレベルの向上を目的とした全国規模の事業。プロムナードコンサートについては雨天のため中止。
第12回全国中学生交流コンサート	アクトシティ浜松 中ホール	3/23	557	
第36回全日本高等学校選抜吹奏楽大会	アクトシティ浜松 大ホール	3/24	1,911	
合計		3事業	3,028	

オ 都市間交流事業

事業名	会場	開催日	派遣者数 (人)	内容
札幌市との音楽文化都市交流事業	札幌旭丘高校 札幌コンサート ホール Kitara	11/3～5	団員 28 引率 8	ジュニアクワイア浜松が市立札幌旭丘高校と交流し、「さっぽろスクール音楽祭」へ出演。
宝塚市との音楽文化都市交流事業	サーラ音楽ホール	11/19	団員 37 引率 4	宝塚ベガジュニアアンサンブルがジュニアオーケストラ浜松、春野町ジュニア有志の会と交流し、「浜松市民文化フェスティバル 2023 ジュニア部門」へ出演。
合計		2事業	77	

カ こどものための音楽鑑賞教室事業

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内容
第23回 こども音楽鑑賞教室	アクトシティ浜松 大ホール	2/14・15	7,213	市内の小学5年生全員を対象に、オーケストラの鑑賞機会を提供。 指揮：永峰大輔 演奏：富士山静岡交響楽団 対象者：浜松市内小学5年生 (児童6,598人／引率336人／一般279人)

キ 浜松市アクトシティ音楽院事業

事業名	会場	開催日	受講者数等(人)	内容
アカデミーコース 世界レベルで活躍する演奏家の育成と世界に向けた音楽文化発信事業 (3事業)				
音楽院修了生公演事業	市内小中学校 ほか	10回	1,544	アクトシティ音楽院修了生に、市内外の音楽活動の場を提供する公演企画。
第29回浜松国際 管楽器アカデミー& フェスティバル	アクトシティ浜松	8/1~6	1,244	国内外で活躍する演奏家を講師として迎え、管楽器の奏者を育成するための短期セミナーと、講師陣によるコンサート。
浜松国際 ピアノアカデミー2024	研修交流センター	3/3~10	1,854	世界的なプロピアニストを育成するとともに、浜松市民がピアノの可能性を楽しみ、感じ、学ぶ機会を提供。 音楽監督：小川典子 講師：石井克典、ジャン・チャクムル マスタークラス受講生：16人 大人のためのワンポイントレッスン受講生：15人
コミュニティコース 市民が参加・体験できる講座の開催と人材育成事業 (9事業)				
ジャズクリニック	各受講校	9/17・18、 10/28・29、 12/23・24	622	守屋純子氏他を講師に迎え、市内の学校の練習会場に赴いてジャズの指導を実施。
吹奏楽セミナー				
保科洋の吹奏楽 楽曲分析・解釈講座	アクトシティ浜松 中ホール リハーサル1号室	4/9	60	保科洋音楽監督を講師に、フィルハーモニックウインズ浜松をモデルバンドとして吹奏楽課題曲講習会を開催。
楽器パート別講座 (小学生)	サーラ音楽ホール	4/15 6/3 9/2	35 37 39	浜松ジュニアプラスを対象としたパート別講座と基礎合奏を学ぶ合奏講座他を開催。
合奏講座 (小学生)	サーラ音楽ホール	5/13 1/27	37 39	
吹奏楽指導研究講座	アクトシティ浜松 中ホール リハーサル1号室	9/24	123	多様なアンサンブル楽譜を用い、楽器編成や演奏表現の可能性を探る指導者向け講座。 講師：伊藤康英 コーディネーター：土屋史人
浜松市所有ジャズ譜 貸出事業	—	通年	6件	金管バンド用、吹奏楽用等に編曲したジャズ譜を、市内アマチュア音楽団体を対象に無料貸し出し。
「交響組曲『ピーターパン』 (吹奏楽版)」 音源・楽譜貸出事業	—	通年	0件	教育文化奨励賞受賞、浜松ゆかりの芸術家佐藤賢太郎氏が制作した楽曲の音源・楽譜をアマチュア音楽団体へ無料貸し出し。
主催者育成セミナー	アクトシティ浜松 研修交流センター	12回	受講者 10 入場者 172	演奏家と聴衆を繋ぐ役割としての音楽イベント主催者を育成。全12回のセミナーにより実践的なノウハウを学習し、最終的に自主企画コンサートを開催。

事業名	会場	開催日	受講者数等(人)	内容
合唱セミナー	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	1/14	230	指揮者の雨森文也氏を講師に迎え、合唱愛好者を対象にした実践的レッスンと、市内学校や一般団体を対象としたワンポイントレッスンを開催した。 講師：雨森文也 受講：6団体
子ども音楽セミナー	浜松市立高校 クリエート浜松 他	10～12月	受講者 166	生涯学習音楽指導員が子どもたちに音楽指導をする講座。邦楽・吹奏楽(小・中学生)・洋楽教室の3クラス。最後の第4回目では保護者に向けた成果発表会を実施した。
パークリー音楽大学事業	研修交流センター	1/19・20	50	オーディション(非公開)と、一般向けに公開ジャズクリニックを実施した。 講師：タイガー大越 モデルバンド：浜松市立高校吹奏楽部
音楽指導者派遣事業	市内 希望学校・団体	通年	受講者 35,947 派遣件数 386件	音楽院の音楽指導者登録者を市内の音楽活動団体へ派遣。
合 計		12事業	42,209	

ク 浜松国際ピアノコンクール事業

(ア) 実行委員会の開催

第2回実行委員会

開催日：令和5年6月23日

場所：アクトシティ浜松 コンgressセンター21 会議室

議題：令和4年度事業報告、第12回コンクール実施要項案

(イ) 第12回コンクール開催準備

(ウ) 国際音楽コンクール世界連盟総会の開催

期間：令和5年6月1日～6月3日

場所：アクトシティ浜松 コンgressセンター41 会議室

参加者：91人

(エ) 関連事業の開催

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内容
海外PR企画公演 「ジャン・チャクムル& フレンズ」	キングスプレイス (ロンドン)	1/19	400	初めてとなる海外PR公演。第10回コンクール優勝者のジャン・チャクムル、審査委員長小川典子氏ほかが出演し、在英の音楽関係者が多数来場した。
第2回ショパン国際 ピリオド楽器コンクール 優勝者リサイタル	アクトシティ浜松 中ホール	1/25	307	「もう一つのショパンコンクール」第2回ショパン国際ピリオド楽器コンクールで優勝したエリック・グオ(カナダ)によるリサイタル。
北村朋幹指揮・ピアノ 名古屋フィルハーモニー 交響楽団	アクトシティ浜松 中ホール	2/12	495	第7回浜松国際ピアノコンクールにおいて史上最年少で3位入賞を果たした、北村朋幹弾き振りによるコンサート。
合 計		3事業	1,202	

(オ) アーリンク・アルゲリッチ財団との提携

- ・イヤープックへの広告掲載
- ・コンクール情報の提供

2 芸術文化活動の促進と地域社会活性化の拠点となる施設の整備、貸与及び運営

(1) アクトシティ浜松

① 運営総括

新型コロナにより大きく影響を受けたコンベンションの開催も、第5類への移行によりコロナ前の水準に戻ってきました。

コロナ禍では、現地とオンライン配信のハイブリッド型での開催が増加しましたが、現在ではそうした開催が一定数は残っているものの、現地開催に軸を置いたハイブリッド型へと移行し、参加者数も大幅に増加してきました。

そのような中で、利用者の要望も現地開催におけるものに変化してきており、そうした要望に応えるために、アクトにおけるネット環境をはじめとした施設・設備の有効な活用方法の提案や、アトラクションにおける演奏者の紹介などの開催支援を行うことで、更なる利用の促進につながるよう努めました。

さらに、民間商業施設やホテルと一体となってアクトシティのにぎわいを創出するためイベントを実施し、施設の利用者に限らず気軽にアクトシティに足を運んでいただく機会としました。

② 重点的に取り組んだ事項

- ・コンベンションへの対応では、経験豊富な専任の担当者を配置し、学会事務局への丁寧なサポートを通して、利用者に満足いただける運営に努めました。特にアフターコロナにおいては、高度なネット環境が求められることが多いため、専門業者と連携し、主催者が求める環境の実現に努めました。
- ・コンベンションの誘致活動においては、浜松・浜名湖ツーリズムビューローとともに全国の学会や大会に出展し、学会関係者に駅前立地であることやサービスの充実度をPRするとともに、将来の誘致につなげるための情報収集を行いました。
- ・運営のサポートでは、アトラクションにおける演奏者の紹介を行ったり、これまでどおり浜松ゆかりの弁当やアレルギー対応の弁当を提供するとともに、新たにヴィーガン向けの弁当を開発しました。なお、サービス全体では、平成29年度の導入以降で最高額となる発注を受けることができました。
- ・アクトシティ活性化事業では、浜松まつり期間中における屋外広場でのステージと屋台の出店を4年ぶりに実施したほか、大河ドラマを契機としたアクトシティへの回遊性を高めるためのスタンプラリーや、浜松出身のアーティストによる館内クリスマス装飾など、アクトシティに集うためのきっかけづくりを行いました。

ア アクトシティ活性化事業

事業名	会場	開催日	参加者数(人)	内容
アクトでやらまいか 浜松まつり	サンクンプラザ	5/3～5	36,000	浜松まつり期間中サンクンプラザにて吹奏楽やダンス、和太鼓のライブパフォーマンス等を実施したほか、縁日や飲食などの屋台の出店も行った。
アクトシティ大冒険!	大ホール他	8/17	74	アクトシティ浜松の大ホールやホテルの裏側、制振装置など、普段はなかなか見ることのできない場所を大冒険するバックステージツアーを開催。
Mai Natsume's Christmas exhibition	アクトシティ浜松 市民ロビー他	12/1～ 12/25	31,000	クリスマスの機運を盛り上げ来館者の回遊を図るため、浜松ゆかりの若手アーティストに依頼し、市民ロビーやアクトタワーなどにアートを活用した装飾を実施。
合計		3事業	67,074	

イ コンベンション等実施状況

(県単位以上の大会・コンベンション等を記載 現地開催は参加者数300名以上 財団事業除く)

利用日	大会名称 ※1	利用施設	参加者数(人) ※2
4/22・23	第14回クリエ全国バレエコンクール	大ホール	440
5/10～6/4	新型コロナワクチン集団接種会場(1回目)	展示イベントホール	7,185
5/24～26	第18回東海・北陸ブロック老健大会 静岡 *	中ホール、 コンgresセンター	920
5/27	第29回全国花のまちづくり 浜松大会	中ホール	800
6/2～4	2023年度日本内科学会生涯教育講演会 Bセッション *	大ホール	220
6/8～10	第47回日本リンパ学会総会 *	コンgresセンター	439
7/15・16	第69回関東甲信越静里親研究協議会 *	コンgresセンター	310
7/16～21	第16回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2023	展示イベントホール 研修交流センター	8,290
7/22～25	18th International Conference on Machine Vision Applications (MVA2023) *	コンgresセンター	360
7/24～29	第26回画像の認識・理解シンポジウム (MIRU2023) *	大ホール、中ホール 展示イベントホール コンgresセンター	3,905
7/26～28	令和5年度 第61回全国大学保健管理協会 東海・北陸地方部会	コンgresセンター	227
7/30～8/4	国際会議 銀河銀河間ガス研究会2023 (Galaxy-IGM Workshop 2023) *	コンgresセンター	245
8/7～9	第64回静岡県吹奏楽コンクール 中学生部門	大ホール、中ホール コンgresセンター	8,052
8/24	政令指定都市私立幼稚園団体協議会 第21回次世代研修浜松大会	コンgresセンター	90
8/28～30	日本ーフィンランド光工学合同シンポジウム	コンgresセンター	160
8/31～9/2	日本麻醉科学会 東海・北陸支部第21回学術集会	コンgresセンター	401
9/15・16	第104回日本脳神経外科学会 中部支部学術集会	コンgresセンター	215
9/21～23	第31回日本シェーグレン症候群学会 総会・学術集会	コンgresセンター	300
9/29～10/1	第66回中部日本吹奏楽コンクール本大会	大ホール、中ホール コンgresセンター	8,030
9/30・10/1	日本緩和医療学会 第5回東海・北陸支部学術大会	コンgresセンター	450
10/5～7	第43回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会 総会 *	コンgresセンター	380

利用日	大会名称 ※1	利用施設	参加者数(人) ※2
10/14	第66回NPO 法人日本口腔科学会中部地方部会	コンgresセンター	131
10/13~15	国際ロータリー第2620地区2023-2024年度地区大会 *	大ホール 展示イベントホール コンgresセンター 研修交流センター	2,808
10/17~20	第56回全国保育士会 研究大会	大ホール コンgresセンター	2,365
10/18~11/6	第9回静岡県国際オペラコンクール *	大ホール コンgresセンター 研修交流センター	3,916
10/21・22	第28回日本臨床毛髪学会学術集会 *	コンgresセンター	270
10/26~29	メディアメッセージ2023	展示イベントホール 研修交流センター	5,300
11/10~12	第159回日本歯科保存学会2023年秋季学術大会	大ホール コンgresセンター	2,200
11/20~24	光ファイバセンサ国際会議 (OFS-28)	中ホール コンgresセンター	1,950
11/25・26	第146回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会	中ホール コンgresセンター	320
11/27~30	日本微生物生態学会第36回浜松大会 The 13th Asian Society on Microbial *	大ホール 展示イベントホール コンgresセンター	4,450
12/9・10	公益社団法人日本口腔インプラント学会 第44回中部支部学術大会	コンgresセンター	425
1/19	日本商工会議所青年部 第322回役員会 *	コンgresセンター	320
2/2~4	アトピー性皮膚炎治療研究会 第29回シンポジウム *	コンgresセンター	520
2/5~3/18	令和5年分確定申告相談会場 令和6年度市民税・県民税申告相談会場	展示イベントホール	14,666
2/11	第33回日本乳幼児医学心理学会	コンgresセンター	151
2/20~25	第54回日本心臓血管外科学会学術総会 *	大ホール、中ホール 展示イベントホール コンgresセンター	8,602
合 計		37 件	89,813

※1 開催形式

*印 現地開催とWeb配信のハイブリッド

※2 参加者数はアクティビティ来館参加者のみカウント

ウ 施設稼働率等

(ア) ホール及び会議室

() 内は前年度実績

		利用率	延べ利用可能数 (日)	延べ利用実数 (日)	入場者数 (人)
大ホール		81.0% (78.5%)	295 (303)	239 (238)	229,113 (212,187)
中ホール		76.8% (69.7%)	306 (310)	235 (216)	100,840 (83,288)
展示イベントホール		64.4% (74.3%)	334 (331)	215 (246)	123,469 (168,936)
コンgresセンター 会議室 (13 室)		71.3% (65.3%)	4,481 (4,451)	3,197 (2,906)	81,887 (65,182)
研修交流 センター	音楽工房ホール	63.5% (58.0%)	337 (331)	214 (192)	17,036 (16,237)
	音楽セミナー室 (13 室)	56.5% (57.1%)	4,486 (4,401)	2,533 (2,515)	8,562 (8,408)
	会議室 (10 室)	77.3% (71.8%)	3,456 (3,414)	2,671 (2,450)	53,933 (46,635)
合 計					614,840 (600,873)

(イ) 駐車場

() 内は前年度実績

	駐車台数 (台)	1 日あたり駐車台数 (台)
駐車場	320,931 (314,425)	876 (861)

エ 利用料金収入

収入区分		当年度 (円)	前年度 (円)	差額 (円)
施設 利用	大ホール	152,439,640	163,406,942	△10,967,302
	中ホール	72,706,283	68,777,578	3,928,705
	展示イベントホール	100,364,748	118,981,289	△18,616,541
	コンgresセンター	169,978,820	149,049,690	20,929,130
	研修交流センター	72,066,902	63,836,285	8,230,617
	地下駐車場	123,183,990	114,208,742	8,975,248
	屋外施設 (サンクンほか)	202,680	84,860	117,820
合 計		690,943,063	678,345,386	12,597,677

(2) クリエイト浜松

① 運営総括

クリエート浜松は、ホールやギャラリー、アトリエ、スタジオなど多様な機能を有しており、市民による音楽やダンス、絵画、工作など多彩な芸術文化活動が日常的に行われています。また、館内には浜松国際交流協会や中部協働センター、浜松市人権啓発センター、放送大学サテライトキャンパスが入居しており、さまざまな目的で来館される多様な利用者が集う場ともなっています。

令和5年度は、将来を見据えた新しい試みとして、若手アーティストによるアート展「ハママツクリエイターズフェス Vol.0」を開催し、若い世代の施設活用やネットワークの構築による創造活動のプラットフォームとしての施設を目指しました。

また、浜松市民文化フェスティバル展示部門では、クリエート浜松を拠点に活動する文化団体の活動成果の発表の場の創出と、団体間の交流の促進を図りました。

さらに、浜松国際交流協会や中部協働センターなどと連携して、多文化共生や生涯学習、人権啓発などの社会課題にも取り組みました。

② 重点的に取り組んだ事項

- ・「ハママツクリエイターズフェス」では、若年層の利用促進を目的に、若手クリエイターによる展示やワークショップ、ミニコンサートやトークイベントのほか、浜松学芸高校の生徒がクリエイターと芸術について話す交流会を行いました。
- ・浜松市民文化フェスティバル「絵・写・書・茶・花」展では、新たな試みとして作品をわかりやすく解説するアートコミュニケーションを実施し、作品に対する質疑応答などを通じて、芸術文化団体と市民との相互交流を図りました。
- ・市民による文化活動の活性化を図るため、クリエイティブな活動を行うきっかけの場として1階ふれあい広場を無料開放するクリエイティブ・ガラヤ、参加者が主体となって取り組む活動を伴走支援するクリハマ楽校を行いました。
- ・浜松国際交流協会との共催で行う「はままつグローバルフェア」では、文化の多様性や共生社会の実現について考える機会としてワークショップや交流会を開催しました。また、クリエートの夏まつりでは、人権啓発センターとの協働により「ハートフルヒューマンコンサート」を開催し、歌を通じて人権啓発を行いました。
- ・イベントをより身近に感じてもらうため、夏まつりや冬まつりにおいて中庭にホットドッグやアイスクリームなどのお店を揃えたり、「ハママツクリエイターズフェス」においては地域連携の一環として、近隣の店舗の協力のもとマルシェを同時開催するなど、にぎわいを創出しました。

ア 施設付帯事業の実施

事業名	開催日回数	参加者数(人)	内容
指定事業 (5事業)			
クリエート浜松 35周年記念 ハママツクリエイターズフェス Vol.0 ～ぼくらの色々いきもの展～	7/21～23	1,621	浜松ゆかりの若手アーティストによる作品展示、ワークショップ、公開制作などを実施。「クリエート・マルシェ」も同時開催した。
浜松市民文化フェスティバル2023 展示部門「絵・写・書・茶・花」展	8/18～20	3,080	3階のギャラリーにおいて、地元の文化団体が絵画、写真、書道、お茶、生け花など、多彩な文化を披露した。

事業名	開催日回数	参加者数(人)	内容
クリエートの夏まつり	8/20	2,200	地域住民や関係機関と連携し、地域及び施設の活性化を目的として、子どもから大人まで親子3世代で楽しめる文化イベントや物販などを行った。 共催：クリエート浜松イベント実行委員会、市人権啓発センター
クリエートの冬まつり	1/20・21	5,530	日ごろより当館を利用する地域活動団体の成果発表・作品展示の場を提供。併せて物販なども行った。 共催：市中部協働センター
第14回はままつグローバルフェア	2/11	2,553	フェアトレードショップや国際交流ブースを設けたイベントを実施。着物などの日本文化にも触れられる場も創出した。 共催：はままつ国際理解教育ネット、(公財)浜松国際交流協会
自主事業 (2事業)			
ふれあい広場活性化事業 Creative Gala (クリエイティブ・ガラ)	41回	265	地域の文化活動活性化のため、ふれあい広場を無料提供する事業。ミニコンサート形式や公開練習など多岐にわたる利用があった。
クリハマ楽校	19回	76	参加者自らが興味関心のあるイベントや講座を企画開催する事業。参加者同士のコミュニケーションの場も創出した。
共催事業 (2事業)			
第26回リフレッシュ理科教室	6/24	55	静岡大学教授のレクチャーによる理科実験工作。 共催：(公社)応用物理学会
Collabo with! クリエート (コラボ・ウィズ)	随時	—	文化団体等から企画提案された浜松の文化振興に寄与する事業を共催者として支援。
その他の事業・機能 (3事業)			
活動情報の収集・データベース化事業	通年	—	市民アーティストの活動をデータベース化し、活動者同士の連携を構築。
文化情報発信事業	通年	—	当施設を利用する同好会・文化団体への取材と情報発信を実施。
インターンシップ実習受入	8/19・20	2	県内・近隣県大学の学生を中心としたインターンシップの受け入れ。
合計	12事業	15,382	

イ 施設稼働率等

() 内は前年度実績

		利用率	延べ利用可能数 (日)	延べ利用実数 (日)	入場者数 (人)
中部協働センター	講座室 (2室)	66.9% (70.9%)	704 (707)	471 (501)	10,625 (12,082)
	クッキング ルーム	44.3% (44.5%)	352 (335)	156 (149)	2,242 (2,524)
	会議室 (3室)	74.6% (78.4%)	1,056 (1,058)	788 (830)	15,769 (14,520)
	和室 (2室)	44.5% (49.9%)	704 (704)	313 (351)	4,514 (5,131)
文化コミュニティ センター	ホール	81.4% (76.8%)	345 (341)	281 (262)	38,920 (43,865)
	会議室 (2室)	54.4% (63.2%)	704 (706)	383 (446)	6,536 (7,072)
	スタジオ	85.0% (89.5%)	352 (353)	299 (316)	9,194 (8,675)
	ふれあい広場	98.0% (97.0%)	352 (337)	345 (327)	24,655 (19,834)
	アトリエ	72.7% (71.7%)	352 (353)	256 (253)	4,168 (3,738)
	ギャラリー (5室)	79.2% (78.0%)	1,749 (1,756)	1,386 (1,369)	159,571 (150,396)
	創造活動室	99.7% (99.7%)	352 (353)	351 (352)	12,282 (11,958)
合 計					288,476 (279,795)

ウ 利用料金収入

収入区分	当年度 (円)	前年度 (円)	差額 (円)
施設利用	51,184,980	51,788,440	△603,460

(3) 浜松市浜北文化センター

① 運営総括

浜北文化センターの特徴は、市北部の文化振興の拠点であることに加え、立地的には、遠州鉄道により市中心部と直結していることや、宅地開発の進展により地域に若い世代が定着していること、さらには令和6年1月から浜北区と北区が合併し、新たに浜名区としてスタートしたことが挙げられます。また、施設的な特徴として、緞帳があるとともに客席がなだらかで舞台を観やすいことなどから、舞台公演に向いている施設であることも挙げられます。

令和5年度はこうした特徴を踏まえ、市内全域から市民吹奏楽団体が集結する「浜松市民バンドフェスティバル」や、近隣市町や県外からの集客を見込む若手人気落語家による「浜北寄席」を開催しました。

そのほか、若いファミリー層向けにゆるやかコンサート、学生に向けた演劇事業としてSPAC 中高生鑑賞事業、旧北区の団体も参加しての「はまきたまると文化フェス2024」などを開催しました。

併せて、令和6年度から始まる改修工事に向けて、施設管理者としての知識と経験により工事の準備に協力するとともに、利用者へ休館中の代替施設や業務内容について丁寧な案内に務めました。

② 重点的に取り組んだ事項

- ・「浜松市民バンドフェスティバル」では、各バンドの個性あふれるステージをはじめ、フィナーレを飾る全バンドによる合同演奏などにより観客に好評を得るとともに、各バンド間の交流を図ることができました。
- ・ゆるやかコンサートでは、親子と一緒にコンサートを楽しむ機会を提供するとともに、市内を中心に活動する演奏家に出演していただくことで、地元演奏家への活動支援としても取り組みました。
- ・県西部の中・高校生が演劇を鑑賞するSPAC 中高生鑑賞事業を実施し、若い世代が良質な舞台芸術に触れることで、文化的な活動への関心を高める契機としました。
- ・市民文化団体が日ごろの成果を発表する「はまきたまると文化フェス」では、旧北区からの参加者を募るとともに、地元産品のマルシェも開催し、新浜名区の文化と地域の活性化を図りました。また、次年度の休館を控え、利用者や地域文化団体とのネットワークの維持に努めました。
- ・休館中の代替施設やリニューアルオープン後の予約スケジュールなどを案内するパンフレットを配布するとともに、ホームページやSNSなどで情報発信することにより、リニューアル後に再びご利用いただくための取り組みを行いました。

ア 施設付帯事業の実施

事業名	開催日	参加者数 (人)	内容
妊婦さんとお母さんのための 「ゆるやかコンサート」シリーズ	5/30	100	親子で楽しめる、主に乳幼児のいるご家族を対象としたコンサートシリーズ。浜松を拠点に活躍する演奏家の出演により実施した。
	7/27	171	
	9/15	116	
	12/22	161	
文化団体作品展示事業			
絵手紙合同展	7/19～30	300	地域の文化団体へ展示発表の場を提供することで活動の継続を支援し、併せて北館の共用スペースの活用も図った。
浜北郷土史部『龍燈と秋葉山常夜灯』	8/2～30	328	
乃の屋 作品展	9/1～30	274	
100人の絵手紙 100人のマラソン展	1/20～30	550	

事業名	開催日	参加者数 (人)	内容
舞台裏方体験講座	8/17・18	50	舞台創作に必要な照明や音響等の知識に触れてもらうため、高校演劇部部員から受講者を募り、当館の舞台スタッフが小ホールで講義を行った。 協力：静岡県西部高校演劇協議会
はまきたまるごと文化フェス 2024	1/20・21	3,266	当館を拠点に活動する地域文化団体が集結して活動の発表を行った。なゆた・浜北との共同開催。
第12回浜松市民バンドフェスティバル	1/28	771	市内の市民吹奏楽団による吹奏楽フェスティバルを4年ぶりに開催。7団体が出演し、各団体による演奏のほか、合同バンドの演奏や、当日抽選で選ばれた来場者による「指揮者体験コーナー」などを行った。 共催：浜松市民バンド協議会
SPAC 中高生鑑賞事業 劇団 SPAC 「伊豆の踊子」	2/8～15	延べ2,590	中・高校生に本物の舞台芸術に触れる機会を提供し、一般対象公演も実施した。 共催：静岡県舞台芸術センター
第39回浜北寄席 「林家たい平・桂宮治 二人会」	2/18	1,156	開館以来続く地域寄席としてお馴染みの催し。人気若手落語家の林家たい平・桂宮治の二人会を開催した。
ゆるやかコンサート特別編 「おとうさんもいっしょ！ SPECIAL JAZZ LIVE II」	2/24	183	子どもとお母さんだけでなく、お父さんも参加しやすい日時と内容を設定し、家族が揃って音楽を楽しむ機会を提供した。
ゆるやかワークショップ 親子でねりきり作りに挑戦！	3/20	24	親子での調理体験を通じ、食に関心を持ち、食育について考える機会を提供した。 講師：西川千晶
ステージ演奏体験 in 浜北文化センター	3/25・27	36	音響設備が整ったホールのステージで、グランドピアノの演奏体験を実施した。
公演誘致活動	通年	—	改修工事に関する施設の情報提供や利用促進の呼びかけを、216件の利用者に対して行った。
広報事業	通年	—	施設利用及び改修工事に伴う休館に関して、ホームページや SNS、パンフレット作成・配布により情報提供を行った。
インターンシップ実習受入	8/17～20	1	県内・近隣県大学の学生を中心としたインターンシップの受け入れ。
合計	13事業	10,077	

イ 施設稼働率等

() 内は前年度実績

		利用率	延べ利用可能数 (日)	延べ利用実数 (日)	入場者数 (人)
本館	大ホール	55.1% (61.1%)	334 (293)	184 (179)	71,944※ (61,688) ※
	小ホール	63.3% (61.7%)	332 (326)	210 (201)	25,838※ (21,532) ※
	リハーサル室	98.8% (99.1%)	343 (344)	339 (341)	11,322 (8,854)
	練習室 (3室)	92.0% (89.3%)	1,032 (1,033)	949 (922)	15,901 (13,631)
	多目的室	77.8% (80.5%)	343 (344)	267 (277)	11,955 (9,866)
	大会議室	68.2% (71.2%)	343 (344)	234 (245)	27,014 (21,752)
	会議室 (5室)	72.8% (75.7%)	1,716 (1,719)	1,249 (1,302)	26,113 (23,881)
	第1和室	45.2% (48.0%)	343 (344)	155 (165)	2,102 (2,541)
	文化活動室	72.0% (64.8%)	343 (344)	247 (223)	3,955 (3,377)
北館	第6会議室	78.4% (77.0%)	343 (344)	269 (265)	4,067 (3,897)
	第7会議室	83.5% (75.0%)	345 (344)	288 (258)	3,973 (2,560)
	第2和室	64.4% (59.9%)	343 (344)	221 (206)	2,573 (2,481)
	談話室	83.7% (80.6%)	343 (345)	287 (278)	3,350 (2,885)
	料理工房	20.7% (14.5%)	343 (344)	71 (50)	1,004 (734)
	音楽室	99.4% (100.0%)	343 (344)	341 (344)	3,636 (3,852)
	第1創作工房	19.5% (15.1%)	343 (344)	67 (52)	284 (256)
	第2創作工房	29.2% (27.9%)	343 (344)	100 (96)	1,321 (1,537)
	コミュニティ活動室	96.8% (98.0%)	343 (344)	332 (337)	8,066 (8,460)
合 計					224,418 (193,784)

※楽屋利用数を含む

ウ 利用料金収入

収入区分	当年度 (円)	前年度 (円)	差額 (円)
施設利用	44,558,770	43,441,878	1,116,892

(4) 浜松市なゆた・浜北

① 運営総括

なゆた・浜北は、ホール、練習室及び駐車場部分について、浜北文化センターと市民ミュージアム浜北との一括指定管理により、当財団と株式会社なゆた浜北の共同事業体で管理運営を行っています。

令和5年度は、ダンスやジャズ、映画祭、お笑いライブなどの文化事業を開催し、地域住民が音楽や映画などに触れる機会を創出しました。屋外では、朝市やイルミネーションなどのイベントを開催し、浜北駅前のにぎわい、活性化を図りました。また、「母の日・父の日」企画として、小学生向けの親子で作るクラフト講座を開講し、家族で楽しむ機会を提供しました。

そのほか、利用団体に好評を得ている「はまきたまるごと文化フェス」を、浜北文化センターとの共同企画として開催し、市民文化団体の発表機会の提供と団体間の交流促進とともに、地域住民に団体の活動を紹介する機会としました。

施設の利用状況については、施設ホームページ上で空き情報をお知らせする頻度を上げたことが認知度の向上につながり、昨年度を上回る施設利用率となりました。

② 重点的に取り組んだ事項

- ・「なゆたジャズフェスティバル」は、浜松を代表する人気と実力を兼ね備えたジャズグループ5組が出演し、ジャズ初心者から愛好家まで、多くの方にその魅力を感じていただく機会となりました。
- ・ステージ上でグランドピアノを演奏する機会を提供し、一般的には体験する機会の少ないホールでの演奏を気軽に体験していただくことで、当ホールの認知度の向上と今後のホール利用の拡大を図りました。
- ・屋外では恒例の朝市やイルミネーションを実施し、地場製品の販売やプロムナードコンサートとタイアップした点灯式を開催するなど、浜北駅前のにぎわい創出を図りました。
- ・「はまきたまるごと文化フェス」では、日ごろから利用する文化団体の発表の場と団体同士の交流の機会を設けることで、地域の文化活動を推進しました。また、はまきたマルシェを同時に開催し、地元商店との連携を図りました。
- ・なゆた・浜北の認知度の向上、誘客につなげるため、イベントのPR動画を区役所や遠鉄電車内、駅待合のサイネージに掲出しました。

ア 施設付帯事業の実施

事業名	開催日	参加者数 (人)	内容
自主事業 (9 事業)			
親子で作るクラフト講座			
親子で“かわいいブードル” を作ろう！	5/13	38	プリザーブドフラワーと造花などを組合せ、犬や庭のアレンジメント作品、木の実類を使ってケーキスタンドに飾るスイーツのような作品を作る、小学生向けのクラフト講座を開催した。
親子で“小さな小さなガーデン” を作ろう！	6/10	37	
親子で“スイーツみたいな作品” を作ろう！	12/9	33	
なゆた・映画まつり	5/13	189	シニアのための映画を楽しむイベント。中野量太監督の2作品を上映した。
ステージ演奏体験 「SHIGERU KAWAI をなゆたホールで 弾いてみよう！」	8/26	36	音響設備が整ったホールのステージで、グランドピアノの演奏体験を実施した。
「天下無敵の爆裂ライブ in なゆた・浜北2」	11/23	150	今一番話題のものまね芸人「レッツゴーよしまさ」をはじめ、3組のお笑い芸人によるライブを2回公演で実施した。

事業名	開催日	参加者数 (人)	内容
はまきたまるごと文化フェス2024	1/20・21	895	浜北文化センターと協働し、それぞれの会場で両館の利用者に発表の場を提供するイベント。併せて広場ではマルシェも開催。なゆた浜北は166団体、キッチンカー3台が参加した。
なゆた・ジャズフェスティバル	2/25	338	ジャズの生演奏で週末を楽しむコンサート。初めての人にも気軽に楽しんでいただける楽曲を演奏した。
はまきた駅前 なゆた朝市	月2回	—	浜北駅前のにぎわい創出を目的に開催する、なゆた恒例の人気企画を継続実施。地元産の新鮮な野菜の販売。4～8月は第2・4火曜日、9月以降は第1・3火曜日に変更して実施した。
なゆた・浜北朝市	7回	—	安くて新鮮な朝採れ野菜を販売する地域出店者による朝市を開催した。(収穫物が少ない等の理由により一部中止)
なゆた駅前広場等活用事業	8件	—	ピタゴラス浜北が主催するフリーマーケットやキッチンカーによる飲食販売、楽器演奏や歌の音楽ライブ、能登半島地震被災者支援フリーマーケットなどを支援し開催した。 恒例のイルミネーションは11/11のプロムナードコンサート内で点灯式を実施。昨年に続きトピアリーを新調・増強し、好評を得た。
合計	9事業	1,716	

イ 施設稼働率等

() 内は前年度実績

	利用率	延べ利用可能数 (日)	延べ利用実数 (日)	入場者数 (人)
なゆたホール	57.7% (45.2%)	307 (341)	177 (154)	24,964 (25,976)
第1控室	30.9% (24.8%)	307 (347)	95 (86)	989 (797)
第2控室	30.0% (22.8%)	307 (347)	92 (79)	1,013 (851)
第1練習室	100.0% (100.0%)	348 (347)	348 (347)	3,185 (3,051)
第2練習室	99.4% (99.7%)	348 (347)	346 (346)	4,044 (3,884)
第3練習室	96.0% (89.6%)	348 (347)	334 (311)	4,364 (3,537)
合計				38,559 (38,096)

ウ 利用料金収入

収入区分	当年度 (円)	前年度 (円)	差額 (円)
施設利用	12,117,080	10,683,040	1,434,040

(5) 浜松市天竜壬生ホール

① 運営総括

市街地と中山間地の境目に立地し、北遠地区の文化施設の中軸を担うホールとして、文化公演や講座を開催するほか、地域の活性化に資する活動やアウトリーチ事業を行いました。

主要事業であるMIBUワークショップは、小・中学生を対象にした舞台芸術の育成事業として年間通してミュージカルとダンスのレッスンをを行い、年末には参加者による成果発表公演を開催しました。

市民が参画する企画として、「みぶ遠州の和太鼓」や「MIBU New Year Concert」、「みぶ絵手紙展」など、地域で文化活動を行う団体と連携して、発表と鑑賞の機会を提供しました。

平日夜のホール活用を企図したシリーズ壬生の響きでは、地元商工会の協力のもと地域の特産品を販売する物販コーナーも併設し、地域の活性化に結び付ける活動としても取り組みました。

そのほか、出張イベントとして「天竜区ふれあいコンサート」を開催し、ホールから離れた中山間地区において、一流の演奏家のコンサートを鑑賞していただく機会としました。

② 重点的に取り組んだ事項

- ・MIBUワークショップでは、成果発表公演だけでなく、まちなかにぎわいコンサートや市民文化フェスティバルといった市の中心部で開催される事業にも積極的に参加し、受講生が本番の舞台を経験する機会と、このワークショップの広報・PRの場としました。
- ・「MIBU New Year Concert」では、二つの市民楽団が合同バンドを組み、浜松出身のプロ管楽器奏者をゲストに迎えて演奏会に臨みました。プログラム内容の検討やプロの音楽家の招聘など、コンサートの制作から当日の運営までを参加者が担う、市民参画による企画としました。
- ・仕事帰りに気軽に鑑賞できるコンサートをコンセプトとするシリーズ壬生の響きは、本地域の歴史を語った琵琶の弾き語りや、浜松国際ピアノコンクール出場者、浜松出身の音楽家といった地域ゆかりの出演者を起用するとともに、地元商工会との連携により天竜マルシェも開催しました。
- ・ホールが近くくない地区に良質な音楽を届ける「天竜区ふれあいコンサート」では、プロのサクソ奏者とピアノ奏者が熊小学校の体育館に出張し、子どもたちだけでなく地域の皆様に、トークを交えた親しみやすいコンサートを提供しました。
- ・高齢者層に人気の高い文芸講座を北遠の皆様にも受講していただくため、浜松文芸館と連携して出張講座を開講しました。

ア 施設付帯事業の実施

事業名	開催日 回数	参加者数 (人)	内容
指定事業 (文化振興事業 2事業)			
シリーズ壬生の響き Vol.3 「琵琶語りの夕べ」	6/30	420	地域に縁のあるアーティストを中心とした、平日の夜に1時間程度のボリュームでホールの特性を意識したイベント。第3回目は藤高りえ子氏による琵琶の弾き語り公演。平家物語のほか遠州地域の歴史を取り上げたものや創作ものを披露した。
MIBU New Year Concert 2024	1/27	286	サクソ奏者福井健太氏を招き、森田利明指揮の地元吹奏楽団「MIBU New Year Festival Band」とのコンサートを開催した。
指定事業 (芸術普及事業 7事業)			
みぶアーティストステージ	6/11	303	児童から大人まで出演者を公募し、ホールでステージパフォーマンスを披露した。12組が出演した。

事業名	開催日回数	参加者数(人)	内容
第5回MIBU吹奏楽フェスティバル	11/5	270	天竜浜名湖鉄道沿線地域の高校吹奏楽部による合同演奏会。出演校の学生による魅力発信ブースも設けた。 助成：(公財)静岡県西部しんきん地域振興財団
MIBUワークショップ ダンスクラス	49回	2,593	専門講師による、小学生から高校生までを対象としたダンス及びミュージカルの通年指導。事業を通じて、芸術文化活動による地域児童の育成促進と地域文化の振興を図っている。在籍人数は、ダンス99名、ミュージカル45名。(ダンスクラス、ミュージカルクラスの一部は10/1のまちなかにぎわいコンサートに参加。ダンスクラスの一部は10/8開催の浜松市民文化フェスティバル「バレエ・ダンスの祭典」にも参加。)
MIBUワークショップ ミュージカルクラス	27回	922	
MIBUワークショップ発表公演 Vol. 21			
ダンス公演	12/23	457	MIBUワークショップ受講生による、年に一度の成果発表会を開催した。 ダンス公演：学年ステージ「The Fox」「Shut Down」他と合同ステージ「ONEPIECE FILM RED～ウタのライブ～」の2部構成。 ミュージカル公演：「森のてんぐ屋さん」。
ミュージカル公演	12/24	248	
みぶ絵手紙展	2/8～18	1,100	天竜区内や近隣で活動する絵手紙団体との共同企画による展示会。
みぶ遠州の和太鼓 2024	2/11	343	静岡県西部で活動する9団体による和太鼓の競演。
自主事業 (7事業)			
ステージ演奏体験	5回	138	コンサートピアノを会館側で準備し、ステージを一般開放し演奏体験の機会を提供。非公開のため、持ち時間を練習・撮影など自由に活用できる。ホール空き日を活用。
シリーズ壬生の響き			
Vol. 4 「秋夜のピアノリサイタル」	9/8	269	地域に縁のある方を中心としたアーティストによる、平日の夜に1時間程度のボリュームでホールの特性を意識したイベントを実施。地元の名店による物販(マルシェ)も同時開催。 出演：坂本彩(ピアノ)
Vol. 5 関連イベント ミュージカルワークショップ	2/3	40	講師：關さや香(ソプラノ)
Vol. 5 「オペラ&ミュージカルの世界」	3/15	301	地域に縁のある方を中心としたアーティストによる、平日の夜に1時間程度のボリュームでホールの特性を意識したイベントを実施。地元の名店による物販(マルシェ)も同時開催。 出演：關さや香(ソプラノ)、今井学(バリトン)、谷野はるか(ピアノ伴奏)
浜松文芸館出張講座 「おくのほそ道～その出会いと別れ～」 第一期	全6回	153	浜松文芸館から講師を派遣し、人気のある講座を月1回、全6回の日程で実施。 講師：勝田敏勝

事業名	開催日 回数	参加者数 (人)	内容
育てよう！アマゴの里親募集			
托卵講座	11/26	38	魚の卵を孵化させ稚魚にすることを各家庭で体験してもらう企画。育った稚魚は二俣川へ放流。
稚魚放流会	2/11	34	協力：天竜川漁業協同組合、 川や湖をきれいにする市民会議
壬生の花見茶席	3/24	31	季節を感じる呈茶サービスの実施。
チケット受託販売	通年	—	当館利用者の開催公演のチケット受託販売。
魅力発信事業	通年	—	施設や地域の魅力や情報を Instagram 等の SNS を使って発信。
自主事業（共催事業 1 事業）			
浜松市天竜区ふれあいコンサート	10/29	90	一流演奏家によるクラシックコンサート。 出演：中谷彩花（ピアノ）、宮越悠貴（サクソ） 共催：浜松市天竜区ふれあいコンサート実行委員会
協力事業（2 事業）			
天竜芸術祭芸能発表会	10/29	830	天竜区内で活動する文化団体が実施する芸術祭の舞台運営を支援。 主催：天竜芸術祭芸能発表会実行委員会
第5回浜松地域中高生のための 管打楽器ソロコンテスト	12/26・27	800	中学校・高校に在籍している学生で応募があった出場者による、管打楽器全般のソロコンテスト。 主催：NPO 法人浜松生涯学習音楽協議会
その他の事業（1 事業）			
インターンシップ実習・就業体験受入	7/11・12、 8/11・12、 9/8	3	学生の就業体験に対する協力。 大学生1名、高校生2名。
合計	20 事業	9,669	

イ 施設稼働率等

() 内は前年度実績

	利用率	延べ利用可能数 (日)	延べ利用実数 (日)	入場者数 (人)
ホール	63.0% (70.1%)	319 (304)	201 (213)	30,692 (26,237)
リハーサル室	99.7% (99.1%)	348 (342)	347 (339)	12,189 (11,203)
会議室 (2室)	69.7% (75.4)	346 (338)	241 (255)	11,920 (10,617)
展示ギャラリー1・2	18.5% (16.5%)	692 (685)	128 (113)	18,750 (15,522)
その他 (楽屋、音楽練習室、ホワイエ、 ホール舞台、野外ステージ)				4,262 (4,212)
合 計				77,813 (67,791)

ウ 利用料金収入

収入区分	当年度 (円)	前年度 (円)	差額 (円)
施設利用	9,029,040	9,003,980	25,060

(6) 浜松市市民音楽ホール（サーラ音楽ホール）

① 運営の総括

令和5年度も、市民文化団体や地域を巻き込んだ活動により、多くの皆様にホールに親しんでいただくとともに、市民音楽団体の日ごろの練習や成果発表の拠点としての運営に努めました。

次代の音楽人材を育成する事業である浜松ジュニアプラス育成事業では、市内小学生有志からなる合同吹奏楽団をNPO法人浜松市生涯学習音楽協議会の認定指導員が年間を通じて指導し、次世代の育成に市民が関わる、学びと教えの循環を実践する事業として実施しました。

市民発案の企画を当館とともに実現するアイデア・チャレンジ事業により、市民の主体的な挑戦を支援するとともに、施設の活性化を目的とする「ミュージックフェスティバル」では、地域住民や学校、企業と連携して、文化活動の発表や地元産品の物販などを行い、地域に開かれた施設を目指しました。さらに、NPO法人との連携により、ユニバーサルの視点を取り入れた「マジックハートコンサート」も開催しました。

企業連携では、ホールが進める「次代の文化を市民が創るプロジェクト」に賛同していただいた地域企業からの支援のもと、当ホールならではの音楽鑑賞教室や社会科見学事業を実施しました。

② 重点的に取り組んだ事項

- ・浜松ジュニアプラス育成事業は、浜松市吹奏楽連盟と連携を図るなかで、中学生・高校生との交流コンサートを盛り込むなど、小学生の育成に中・高生や教育者が関わる事業として展開しました。
- ・アイデア・チャレンジ事業では、当ホールと上阿多古小学校の2会場をリモート中継で結び、管弦楽アンサンブルの音楽鑑賞教室を行いました。ホールまで出掛ける機会の少ない地域の児童にもホールやプロの演奏に親しんでいただく機会としました。
- ・乳幼児や高齢者、障がいのある人など誰もが参画しやすい「マジックハートコンサート」を、開催日までの準備も含めてワークショップとして構成し、地域に根差した活動を行うNPO法人との協働により開催しました。
- ・大学連携事業は、常葉大学と連携し、大学生が学んでいる専門性を活かした健康講座を開催しました。この事業は次代の指導者を目指す大学生にとって、地域での良い実践の機会となっています。
- ・企業連携事業では、サーラコーポレーションの協力による事業助成や、地域企業と浜松交響楽団の協力による「オーケストラ鑑賞教室」の開催、学校がホールを利用した際に周辺企業を見学する社会科見学会など、当ホールが仲介役となって子どもたちに新たな学びの場を提供しました。

(ア) 施設付帯事業の実施

事業名	開催日	参加者数 (人)	内容
指定事業（次世代の音楽文化の担い手となる人材の育成 2事業）			
浜松ジュニアプラス育成事業（小学生世代）			
定期練習	通年 (月数回)	団員 40	浜松市内の小学生による合同吹奏楽バンドの育成をNPO法人浜松市生涯学習音楽協議会と協働で実施。
第3回定期演奏会	2/25	802	練習の成果を披露する演奏会を開催。ゲストに浜松中学生吹奏楽団を招聘して保護者、地元住民を中心に集客を行い、本格的なコンサート形式で開催。

事業名		開催日	参加者数 (人)	内容
その他の事業		7/8	—	台湾の新北市忠義国民小学校吹奏楽団との演奏交流を実施。 会場：アクトシティ浜松 音楽工房ホール
		9/17	—	浜松市民文化フェスティバル2023「第16回吹奏楽トップコンサート」に出演。 会場：アクトシティ浜松 大ホール
		11/19	—	浜松市民文化フェスティバル2023「ジュニア部門」に出演。 会場：ホール
常葉大学連携事業				
	常葉大学生による「健幸」づくり運動講座	10/2	53	地元の大学生が企画運営する子ども対象のワークショップを開催するとともに、一般市民対象講座も開催。 共催：常葉大学浜松キャンパス
	幼児・児童英語：英語で楽しく歌って遊びましょう！	12/13	36	
	カプラブロックを積んで遊びましょう！	12/19	14	
	ツボをつかったセルフケアを体験しよう！	2/2	32	
	音楽を身体中で感じてリフレッシュ！！	2/21	20	
指定事業（市民の音楽文化活動の促進 5事業）				
アイデア・チャレンジ事業（市民提案によるホール活性化事業）				
	リモート鑑賞教室	11/13	参加生徒数 ホール 30 小学校 33	演奏家を学校及びホールへ派遣して音楽鑑賞教室を実施。また、ホールの映像配信設備を活用し、両会場をリモート中継で結び、相互コミュニケーションを図った。 発案：アンサンブル・ムジーク浜松 会場：ホール、上阿多古小学校 参加：上阿多古小学校、下阿多古小学校、熊小学校
	第16回吹奏楽トップコンサート グランプリ受賞記念 浜松市立高等学校吹奏楽部 「課題曲コンサート」	3/10	480	作曲家の伊藤康英氏らをゲストに迎え、全日本吹奏楽コンクール2024年度課題曲のクリニックを中心としたコンサートを実施。 発案：浜松市立高等学校吹奏楽部 会場：ホール
	ユニバーサル事業 マジックハートコンサート	6回	347	客席がフラットな多目的室を会場として、障がいのある人や、子育て世代を主な対象としたコンサートを開催。 共催：認定NPO法人魅惑的倶楽部
	マジックハート・クリスマスコンサート	12/17	300	「マジックハートコンサート」の規模を拡大し、ホールを利用した障がいのある人や子育て世代を主な対象としたコンサートを実施。健常者、障がい者がともに楽しめるコンサートとして開催。 共催：認定NPO法人魅惑的倶楽部

事業名	開催日	参加者数 (人)	内容
サポーターズクラブ	通年	登録者数 144	当館を拠点に活動する文化団体及び個人を人材データベースに登録してバンク化し、市域のアウトリーチ等に活用。
エントランスロビー活用事業 「浜松市民ギャラリー」	通年	作品数 10	エントランスロビーに市内芸術団体の作品を展示。 協力：浜松市書道連盟、浜松市美術協会、 浜松市写真家協議会
指定事業 (その他事業 4事業)			
サーラ音楽ホール運営委員会	3/8	9	施設利用者、教育団体、地域自治会等、施設の関係団体代表者によるホール事業や施設運営改善を目的とした会合を開催。
情報発信掲示板 コミュニケーションスクエア	通年	—	市内の文化団体や個人が活動を自由に発信するための館内掲示スペースの活用。
インターンシップ実習	夏期～秋期	—	県内・近隣県大学の学生を主としたインターンシップを募集した。(学生とのマッチング不成立により令和5年度の受け入れはなし)
校外学習マッチング (地域・企業連携事業)			
リモート鑑賞教室	11/13	30	参加校である上阿多古小学校、下阿多古小学校、熊小学校の校外学習として、ローランド(株)都田工場の工場見学をマッチングした。
浜松市小学校音楽科研究発表会	11/29	37	出演校である伊目小学校の校外学習として、「都田アソシエイツ」に加盟する企業の工場見学等をマッチングした。 会場：テイボー(株)、ニチアス(株)、ASTI(株)
自主事業 (2事業)			
都田文化力向上事業 浜松交響楽団オーケストラ鑑賞教室 「オーケストラの夜明け」	6/4	1,000	地域の文化振興の発信をテーマに、浜松交響楽団の協力のもと地域音楽文化レベルの向上を図り、ホールのにぎわいの創出を目的とした音楽鑑賞教室を実施。(一社)MIYAKODAと協力してロビーマルシェを同時開催した。
サーラ音楽ホール 「ミュージックフェスティバル」 (企業協賛・地域連携事業)	11/5	2,000	地域住民や企業と連携し、地域及び施設の活性化を目的とした文化活動の発表や地元産品の物販などを実施。多目的室では、新都田自治会連合会によるアート展示を同時開催。
合計	13事業	5,407	

<特別協力事業実績>

事業名		開催日時	参加者数	事業内容
浜松バンドスピリット 2023 サーラ杯		5/6	出演校 15校 来場者 1,300	浜松市吹奏楽連盟に加盟する中学校・高等学校が 出場する吹奏楽大会を開催。 協賛：サーラコーポレーション
浜松ユース吹奏楽団				
	定期練習	通年	団員 150	NPO 法人浜松生涯学習音楽協議会が実施する浜松 市内の高校生を中心とした合同吹奏楽バンド育 成の練習会場として、利用率の低い平日夜間のホ ールへ誘致。
	第2回定期演奏会	1/8	来場者 1,100	浜松ユース吹奏楽団の練習成果として発表会を 実施。
須川展也ワールド in 浜松 ～弦楽×吹奏楽 全世代による夢の共演～		10/9	1,200	アンサンブル・ムジーク浜松が主催。当館を拠点 に活動するユース吹奏楽団と須川氏及びアンサ ンブル・ムジークオーケストラをマッチング及び 運営アドバイスをを行った。
学生音楽交流事業		3/27	82	オーストラリア McKinnon Secondary College の 音楽学部学生と浜松聖星高等学校との交流事業。 2校のマッチング及び交流イベントを実施した。
合計		4事業	3,832	

イ 施設稼働率等

	利用率	延べ利用可能数 (日)	延べ利用実数 (日)	入場者数 (人)
ホール	64.6% (71.6%)	322 (306)	208 (219)	72,069 (83,198)
多目的室1	86.9% (86.0%)	336 (336)	292 (289)	14,247 (15,577)
多目的室2	79.8% (74.8%)	336 (333)	268 (249)	13,878 (11,072)
多目的室3	64.5% (64.7%)	338 (334)	218 (216)	7,760 (9,565)
合計				107,954 (119,412)

3 観覧施設を活用した資源の調査、収集、保存、展示による芸術文化の普及発展

(1) 浜松市楽器博物館

① 運営について

徳川家康にスポットがあたった令和5年度は、特別展で天下泰平の江戸時代に花開いた楽器「三味線」をとりあげ、家康が築いた平和な世だからこそ展開した音楽や楽器、その時代に生きた人々の生活文化などを紹介しました。

また、新型コロナ対策の緩和措置などにより、海外から多くの観光客が訪れることを想定し、スマートフォンを利用した音声ガイドや館内表示、ホームページなどの多言語化を、より一層進めました。

さらに、PRの強化を図るため、静岡文化芸術大学の大学生視点での学生向けSNS発信や、PRプランナーと協力しての楽器紹介を中心とした一般向けSNS発信など、目的とターゲットを定めた取り組みを実施しました。

令和5年度も国内唯一の公立楽器博物館として、調査研究の成果を、展示や国際会議への参加などを通じて国内外に広く発信するとともに、教育機関との連携事業により、音楽の都“浜松”の博物館として、次代の音楽人材の育成にも努めました。

② 重点的に取り組んだ事項

- ・特別展「どうする江戸の音楽 天下泰平の世に花開いた楽器 三味線」では、「三味線」だけでなく常設展「日本コーナー」のリニューアルにより、同じく江戸時代に花開いた琵琶・箏・一絃琴・胡弓の歴史や文化なども併せて紹介しました。また、それらの楽器が登場するイベントや講座、ワークショップも実施しました。
- ・企画展「響き渡る 日本にやってきたラッパ」では、西洋由来の楽器であるラッパが、いつ日本に入り、どう広がりを見せていったのかを黒船来航などの史実とともに紹介し、関連イベントとして金管楽器奏者らによる演奏会も開催しました。
- ・レクチャーコンサートは、三方ヶ原合戦の戦死者を供養するために始まったとされる「遠州大念仏」、中東の楽器が登場する「Light in Babylon」、前回のショパンピリオド楽器コンクールで第2位を受賞した川口成彦による「フォルテピアノリサイタル」など幅広いジャンルで開催し、ほとんどの回で完売するなど好評を博しました。
- ・ホームページの表示原語を、日本語・英語の二カ国から、韓国語・中国語・ポルトガル語を追加した五カ国語対応に変更しました。英語の解説冊子を館内各エリアに配置し、日本語がわからない外国人でも常設展の解説が楽しめるようにしました。
- ・市内小学校への移動楽器博物館により、世界の楽器と音楽を通してその国の暮らしや文化への子どもたちの理解を深めるとともに、大学との連携により、学生によるワークショップや地域の民俗芸能の調査などを行いました。

ア 施設付帯事業の実施

事業名	開催日	参加者数(人)	内容
特別展・企画展・常設展・ミニ展示 (12事業)			
特別展 「どうする江戸の音楽 天下泰平の世に花開いた楽器 三味線」	7/15～12/12	※36,651	天下泰平の江戸時代に花開いた楽器「三味線」を軸に、江戸の音楽や楽器、付随する文化等を紹介。
企画展			
小松亮太監修 蛇腹楽器展 「おくり魅かれる風・音色 ～バンドネオンの謎と真実～」	4/1～5/9 (1/14～)	※7,835	バンドネオン誕生の背景や構造、音楽を紹介。 監修：小松亮太(バンドネオン奏者)

事業名		開催日	参加者数 (人)	内容
	「響き渡る 日本にやってきたラップ」	1/13～3/31 (～5/7)	※17,155	西洋由来の楽器であるラップがいつ日本に来てどう広がったのか、黒船来航等の史実とともに紹介。
常設展の運営・整備		通年	—	楽器展示室、体験室の管理運営。
ミニ展示				
	「移動楽器博物館 ～楽器と音のしくみ～」	4/1～7/11	※17,738	移動楽器博物館で実施している音の実験を紹介。体験あり。
	「琵琶はどこからやってきた？ ～楽器の東西伝播～」	4/1～2/13	※63,312	古代ペルシアの楽器がどのように伝播して琵琶へ変化したかを解説。
	「どうする 楽器素材の危機と保全 ～鶴殿のヨシ原から～」	5/25～3/31	※65,295	絶滅の危機に瀕している葦の産地の現状と取り組みを解説。
	「遠州地方、夏の風物詩 遠州大念仏」	6/15～9/26	※25,312	遠州大念仏の起源や使われている楽器を紹介。映像あり。
	「どうする!! 地方の歌舞伎 江戸時代から受け継ぐ横尾歌舞伎」	10/5～3/31	※26,828	横尾歌舞伎の衣装、小道具を展示。今後の継続のための取り組みも解説。
	「どうする!! 地方の歌舞伎 復活した雄踏歌舞伎『万人講』」	12/14～1/7	※3,445	雄踏歌舞伎の歴史等の解説に加え、衣装、小道具、台本を展示。
	「古今東西のユーフォニアム」	2/1～3/31	※14,611	ユーフォニアムの祖であるオイフォニオンから180年の変遷を辿る歴史展。
	「弦楽器コラと吟遊詩人グリオ」	2/15～3/31	※12,055	西アフリカの楽器「コラ」とその演奏者グリオについて解説。映像あり。
ガイドツアー・ギャラリートーク・ミュージアムサロン・シリーズ音楽の広場 (4事業)				
	展示室ガイドツアー	毎日曜日	※1,397	当館職員によるテーマ別の展示解説ツアー。
	ギャラリートーク	通年	※15,920	職員による実演と展示解説。
	ミュージアムサロン	6回	※876	ゲスト演奏家による展示室でのミニレクチャーとミニコンサート。
	シリーズ音楽の広場	24回	※2,551	地域の音楽家や職員等による展示室ミニコンサート。
演奏会 (6事業)				
レクチャーコンサート				
	バラードでめぐるショパン	6/22	116	ショパンが愛したピアノ「プレイエル」を用いたオールショパンプログラムによる演奏と解説。 出演：川口成彦
	多様な民族と文化の 融合プロジェクト Light in Babylon	7/19	88	オリエンタルでエキゾチックな東地中海エリアの音楽を紹介。出演：ライト・イン・バビロン
	遠州大念仏 ～音は不滅、一庭申す～	8/11	96	三方ヶ原の戦いの死者を供養するために始まったとされる郷土芸能の実演と解説。 出演：遠州大念仏保存会 寺島組、 遠州大念仏保存会会長 生熊孝至

事業名		開催日	参加者数 (人)	内容
	平家琵琶・三味線・箏・ 胡弓で紡ぐ音と旋律 ～当道が伝えた江戸の芸術～	10/13	124	江戸時代に当道座が育んだ、平家琵琶、地歌三味線、箏や胡弓の音楽を紹介。 出演：菊央雄司、田中奈央一、日吉章吾
	ユーフォニアムの魅力 ～音の博物館～	2/4	92	企画展「響き渡る 日本にやってきたラッパ」の 関連イベント。 演奏：坂岡裕志
イブニングサロンコンサート				
	平和への願いを ^{ウクライナ} 祖国の楽器 「バンドゥーラ」に込めて	9/16	79	祖国の楽器「バンドゥーラ」の音色や音楽、文化 を紹介しながら、平和への想いを届けた。 出演：カテリーナ
講座・ワークショップ (8事業)				
講座				
	文学と絵から知る、 江戸期吉原遊廓の音楽文化	8/19	42	講師：青木慧 演奏：町田夢子
ワークショップ				
	三味線を弾いてみよう！	11/11	16	講師：松永鉄久 対象：小学4年生以上
	歌舞伎の楽器体験会	11/18	※68	講師：福原鶴十郎、福原芳華、松永鉄久
	青色LEDを使った電子楽器 “PB トーン” を作って演奏しよう！	1/20	10	講師：山脇一休、浜松城北工業高校生徒 対象：小学4年生～中学生
	ホースで作ろう！ 手作りトランペット	3/16	19	講師：ヤマハミュージック浜松店 対象：小学生以上
	とり笛を作ろう！	7回	※107	ボール紙とストローでとり笛を作って音を出す。 講師：職員、ボランティア 対象：小学生
	うぐいす笛を作ろう！	10/29	14	吹くとうぐいすの鳴き声が出る木製の笛作り。 講師：福原芳華 対象：小学4年生以上
	清元節と歌舞伎の付け打ち	11/20	※40	江戸浄瑠璃・清本節の三味線と歌舞伎の付け打ち を学ぶ。 講師：清元齋寿、山崎徹
市内小学校移動博物館 (6事業)				
	北浜東小学校	5/15～17	250	浜松市内小学校への移動博物館。お話と体験を織り交ぜて、クラスごとに世界の楽器文化を紹介。保護者や地域住民への開放も含む。
	佐藤小学校	5/29～6/2	350	
	和地小学校	6/12～16	555	
	上阿多古小学校	9/12	18	
	伊目小学校	10/10・11	78	
	花川小学校	2/27・28	51	

事業名	開催日	参加者数 (人)	内容
楽器整理・調査・情報発信 (8事業)			
所蔵資料の調査・整理・修復	通年	—	所蔵資料の調査、整理、修理、修復。
音楽文化・芸能調査	通年	—	市内又は日本の伝承民俗芸能の調査。「西浦の田楽」等、三遠南信地方に伝わる民俗音楽の調査研究。
広報誌「楽器博物館だより」発行	通年	—	年2回発行 (No. 140~141)。 市内小中学校・公共施設等に配布。
公式ホームページサイトの管理運営	通年	—	一般情報とアーカイブス、最新情報ほかを発信。
国際会議への参加と発表	8/30~9/1	—	国際博物館会議CIMCIM年次大会 (オランダ)。
新東名サービスエリア展示協力	通年	—	ネオパーサ浜松SA (下り) にて当館所蔵楽器を展示。
SNS等を使った情報発信	通年	—	Facebook、Instagram、X を使って情報発信。過去の特別展、企画展のLINE スタンプも販売中。
バーチャル楽器博物館の運営	通年 (R3. 5/1~)	—	スマートフォンやパソコンから館内が見学でき、オンラインで当館を楽しむことが可能。 ページビュー数：37,461回 ユーザー数：21,801人 (令和6年3月末現在)
他博物館・教育研究機関等との連携 (4事業)			
静岡文化芸術大学との連携イベント 「文芸大生によるSNSを活用した特別展 および関連イベントの情報発信」	7/15~12/12	—	Facebook、Instagram、X、YouTube の4媒体を活用して特別展および関連イベントの情報発信を行った。
高槻市立自然博物館あくあびあ芥川へ 資料貸出	3/2~31 (~5/19)	—	当館所蔵の資料4点を貸し出し。 展覧会名：「楽器の生き物たち」。
静岡大学との共同プロジェクト 「仮想現実 (VR) 楽器演奏体験」	11/23・26	※50	当館所蔵のカホンとジェンベを3Dモデル化。VR上での疑似演奏体験を提供。対象：10歳以上
サーラ音楽ホールへオルガン貸出	11/5	—	サーラ音楽ホールミュージックフェスティバルの来館者用の体験楽器として、リードオルガンや打楽器等を貸し出し。
研修受け入れ (5事業)			
学芸員実習	9/11~16	6	全国の大学より公募選考にて受け入れ。
インターンシップ実習	8/10・11・19	2	市内や静岡県内外の大学生を中心に受け入れ。
教職員研修	8/28・29	1	浜松市の教職員の研修受け入れ。
中学生・高校生職場体験	通年	28	浜松市の中学生、高校生の職場体験受け入れ。
中学校との共同授業	1/25	※41	インドネシアのガムラン体験ほか。 実施校：聖隷クリストファー中学校1年生
合計	53事業	313,322	[観覧者数に含まれる数 (※の事業) 311,287]

イ 図録の制作・発行

なし

ウ 観覧者数

() 内は前年度実績

観覧者数計 (人)	内 訳 (人)			
	大人	高校生	小中学生	幼児
75,367	58,515	3,099	11,018	2,735
(64,361)	(50,017)	(2,406)	(9,366)	(2,572)

エ 利用料金収入

収入区分	当年度 (円)	前年度 (円)	差額 (円)
観覧料	36,537,440	31,037,600	5,499,840

(2) 浜松文芸館

① 運営総括

展示事業では、特別収蔵展として、没後30年を迎えた藤枝静男や、明治から大正時代に活躍した俳人松島十湖を取り上げました。企画展としては、徳川家康の時代を、郷土誌に掲載された多数の挿絵原画や古地図などを用いて紹介しました。異なる時代に活躍した浜松ゆかりの人物を、その人物像や業績などにスポットをあて、エピソードなどからの新たな視点を交えて紹介することができました。

講座や講演会においては、講師による受講生の作品添削や交流の機会を増やしたり、館側でも講座の概略紹介資料を用意するなどの工夫をして、参加者の満足度の向上に努めました。

静岡大学地域創造学環との連携事業においては、文芸館事業の一部を大学生が企画・開催し、学生が幅広い年齢層や地域の人々とふれあう機会としました。

浜松市民文芸第69集の発行では、文芸部を有する高校などに協力を仰ぎ、若い世代の応募を働きかけました。その結果、評論と詩の部門で高校生3名が市民文芸賞を受賞し、若い世代の入選もみられました。

② 重点的に取り組んだ事項

- ・特別収蔵展「没後30年 藤枝静男が遺したもの」と「俳人 松島十湖展」では、人物の文芸的業績の紹介だけでなく、子孫や関係者、地元の人々などから情報を収集し、その人柄や今まで知られていなかったエピソードなどを、ゆかりの品々とともに紹介しました。
- ・企画展「郷土誌からみる浜松の今昔」では、NHK大河ドラマ「どうする家康」放映に合わせ、ドラマの登場人物を郷土誌掲載の挿絵原画や古地図などを用いて紹介しました。見てわかる展示を心掛けたこともあり、歴史好きの方はもとよりドラマを視聴した方々から、わかりやすいとの感想をいただきました。
- ・静岡大学地域創造学環と連携して行っている「ガチャで作ろう合作俳句」を継続して行ったほか、学生と夏休み講座に参加した子どもたちの交流活動を実施し、大学生が文芸館の活動に直接参画する機会をつくりました。
- ・若者による文化活動の発表の場を増やすことを目的に、高校生による戦国武将辞世の句の書道作品や太宰治の生涯を双六風にまとめた作品を、展示室の一角に展示しました。
- ・浜松市民文芸第69集を発行し、9部門で1,991点、投稿者延べ486名でした。裏表紙のイラストは静岡大学地域創造学環の学生に依頼し、若い人たちも手に取りやすい浜松市民文芸としました。

ア 施設付帯事業の実施

事業名	開催日回数	参加者数(人)	内容
展示事業 (4事業)			
特別収蔵展 「原田濱人とその思いを受け継ぐ 浜松の俳人たち」	4/1～6/18 (3/1～)	※1,922	静岡県長上郡原島村(現在の浜松市中央区原島町)出身の俳人・原田濱人の功績やその思いを受け継いだ俳人たちの活動を紹介。
特別収蔵展 「没後30年 藤枝静男が遺したもの」	7/1～10/15	※3,670	浜松をこよなく愛し、医師であり、小説家であった藤枝静男の節目の年に、藤枝文学の魅力を改めて紹介。
企画展 「郷土誌からみる浜松の今昔 —家康の時代を中心に—」	11/1～2/12	※4,660	大須賀義明氏の描いた絵を中心に、徳川家康の活動と浜松の関わりなどを紹介。
特別収蔵展 「俳人 松島十湖展 ～没後98年、浜松に清々しく人のため 世のために突っ走った人がいた!～」	3/1～31 (～6/16)	※1,340	天竜川の治水など人々のために尽くしながら生涯俳諧に勤しんだ浜松の俳人・松島十湖を紹介。

事業名	開催日回数	参加者数(人)	内容
講座 (13事業)			
『源氏物語』入門講座	6回	157	『源氏物語』のあらすじをまとめた『源氏物語忍草』の濛標から少女までをよむ。講師：松平和久
江戸の絵本講座	6回	89	変体仮名で書かれた江戸の絵本(恋相撲『川隔小瀬世話』)をよむ。講師：勝田敏勝
川柳入門講座	5回	47	川柳の知識や作り方、鑑賞の仕方を学ぶ。(初心者向け)講師：今田久帆
短歌入門講座	5回	61	短歌の知識や作り方、鑑賞の仕方を学ぶ。(初心者向け)講師：村松建彦
俳句入門講座Ⅰ・Ⅱ	10回(各5回)	146	俳句の知識や作り方、鑑賞の仕方を学ぶ。(初心者向け)講師：Ⅰ 笹瀬節子 Ⅱ 村松二本
『平家物語』講座	6回	134	『平家物語』の読解を通して当時の人々の死生観に迫る。巻八～九をよむ。講師：大石嘉美
『おくのほそ道』講座	6回	141	芭蕉と旅で出会った人物との関わりに着目し、「出会いと別れの物語」としてよむ。講師：勝田敏勝
朗読入門講座	6回	69	短詩や随筆を読みながら、声に出すことと表現することの楽しさを味わう。講師：堤腰和余
朗読書講座	6回	82	1冊の本を精読し、その世界を朗読で表現。講師：堤腰和余
篆刻初級講座	5回	99	文字を学習し、好きな言葉(四字熟語等)の印を作成。講師：下石哲幸
石川啄木鑑賞講座	5回	53	テキストとなる詩集の製本及び鑑賞。講師：折金紀男
『万葉集』講座	6回	192	柿本人麻呂や大伴家持、坂上郎女の歌を中心によむ。講師：松平和久
『和泉式部日記』講座	6回	233	孤独を分かち合い、折を心得た一組の男女の知性と感性の応酬をよむ。講師：松平和久
イベント (1事業)			
朗読会 「山本周五郎『日本婦道記』より」 (『糸車』・エッセイ2作品)	10/22	46	朗読を通して、山本周五郎作品を味わう。講師：堤腰和余
講演会 (3事業)			
プーチンのウクライナ侵攻	5/13	39	歴史学者の視点からプーチンのウクライナ侵攻を掘り下げる。講師：金原増吉
藤枝静男邸を訪ねた作家たち	8/6	29	藤枝静男と深く親交のあった作家たちを紹介。講師：和久田雅之
芭蕉に学ぶ俳句の作り方	11/25	51	芭蕉の俳句作りに迫る。講師：高柳克弘(11/11より日程を変更して実施)
子ども向け事業 (3事業)			
夏休み絵本づくり講座	7/22	20	小学3年生から6年生対象。自分で作ったお話でおもしろ絵本を作成。講師：井口恭子
楽しいお話づくり講座	7/29	27	小学1年生から3年生対象。自分の力で楽しいお話を作ることに挑戦。講師：井口恭子

事業名	開催日回数	参加者数(人)	内容
夏休み読書感想文講座	7/22・29	39	小学4年生から6年生対象。読書感想文を実際に書きながら、自分の感動を相手に伝える書き方を学ぶ。 講師：林容子
浜松市民文芸事業 (1事業)			
浜松市民文芸第69集の作品募集・選考・編集・発行・販売・電子出版	通年	—	浜松市民文芸の発行と販売。あわせてホームページ上に電子書籍として公開。
資料の調査研究・保存・整理 (1事業)			
資料収集・研究・整理事業	通年	—	資料収集対象者を中心とした、資料の収集・分類・研究及び寄贈品の登録等。
教育機関との連携 (4事業)			
入館者や学習見学者への案内・説明	通年	—	入館者への展示室案内や、市内小学校等の施設見学の受け入れ。
職場体験学習・フィールドワーク受入	通年	—	フィールドワーク(学外実習)希望者や、市内中高生の体験学習の受け入れと出前講座の実施。
特別フィールドワーク 静岡大学地域創造学環との連携事業	4回	20	静岡大学が実施する地域創造学環フィールドワークとの連携事業。学生とともに当館の運営課題を研究し、広報展開や事業を開催。
インターンシップ実習受入	8/21・25	2	県内・近隣県大学の学生を中心としたインターンシップの受け入れ。
クリエート浜松とのコラボ事業 (2事業)			
浜松文芸館インフォメーションコーナーの運営	通年	—	クリエート浜松1階に当館を紹介するコーナーを設置し、当館の存在と事業を広く周知
フォト俳句展	1/20・21	—	クリエートの冬まつりにおいて、市内学生が民間写真団体の作品を見て作った俳句を展示。あわせて当館の事業紹介コーナーも設けた。 (8/20より日程を変更して実施)
その他事業 (6事業)			
文芸館だより「いざない」発行	通年	—	当館の各講座や展示、浜松と関係のある文人、文学を紹介。No.76、77、78、79を発行した。
浜松市文化振興財団自主出版 『風紋のアンソロジー』Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 販売	通年	—	浜松ゆかりの作家らのエッセイや選句集などを収録した文庫本の販売。(500円/冊)
『裾野の「虹」が結んだ交誼 曾宮一念、藤枝静男宛書簡』販売	通年	—	曾宮一念と藤枝静男の生い立ちから出会いまでと二人の書簡を時系列で紹介した本の販売。 (2,037円/冊)
出版物・地域伝統品の委託販売	通年	—	講座講師著書や、やらまいかブランド「遠州綿紬」使用品等の委託販売。

事業名	開催日回数	参加者数(人)	内容
移動浜松文芸館	3/16	—	図書館や学校へ当館の展示資料を貸出し、展示・観覧してもらうアウトリーチ事業。「郷土誌からみる浜松の今昔」で使用した大須賀義明氏の作品やパネルを、原谷地区学習センターでの原谷史学習会の際に観覧いただいた。
「BUNBUN はままつ」	12月	—	「浜松百撰」との協賛事業。浜松市民文芸受賞者を対象に募集した作品を「浜松百撰」誌に掲載。
合計	38事業	13,368	[観覧者数と重複する人数(※の事業) 11,592人]

※別表 第69集「浜松市民文芸」応募状況 ()内は前年度実績

募集部門	応募数(人)
小説	11 (12)
児童文学	5 (7)
評論	6 (4)
随筆	25 (27)
詩	42 (42)
短歌	101 (100)
定型俳句	167 (198)
自由律俳句	45 (44)
川柳	84 (93)
合計	486 (527)

イ 施設稼働率等

()内は前年度実績

	利用率	延べ利用可能数(日)	延べ利用実数(日)	入場者数(人)
講座室	55.6% (66.3%)	351 (353)	195 (234)	2,189 (2,483)

ウ 観覧者数

()内は前年度実績

開館日数(日)	観覧者数計(人)	内訳(人)		
		大人(高齢者含む)	高校生	小中学生未就学児
308 (313)	11,592 (11,560)	11,392 (11,315)	6 (22)	194 (223)

エ 利用料金収入

収入区分	当年度(円)	前年度(円)	差額(円)
施設利用	407,640	450,530	△42,890

(3) 浜松市・市民ミュージアム浜北

① 運営総括

浜北の歴史的資料を展示する市博物館分館として、地域の文化を継承し次世代に伝えるための取り組みを行いました。綿糸の作り方を体験して浜北地域に続く機織産業の一端を知っていただく講座や、子ども向けの大型連休や夏休み時の体験ワークショップ、常設の体験コーナーの運営などを行いました。

子どもたちが地域の歴史や文化についての知識を深めることにより、自分たちの住む地域に愛着を持ち、将来の地域貢献や文化の継承につながっていくことを企図しました。

広報面においては、ホームページのほかソーシャルメディアにより情報を発信、浜北文化センターの発行するイベントガイドにミュージアムの記事を掲載するなどして、より多くの方へ届くよう取り組みました。

なお、令和6年度の大規模改修工事に向けて展示資料等の移設作業を行う必要があることから、当館は令和6年1月16日以降を臨時休館とし、ミュージアム内の物品の分類整理や梱包をするなどして、引越しの準備作業に専念しました。

② 重点的に取り組んだ事項

- ・子ども対象の体験プログラムとして、5月の大型連休中にまが玉作り、夏休みに機織りや浜北の風車作り、藍のたたき染めなどを行いました。ミュージアムならではの体験を通じて、子どもたちが地域の歴史に触れる機会を提供しました。
- ・ミュージアムの外に出て地域の文化や歴史を広める出張講座では、集客力ある近隣商業施設を会場として開催された「はまきた産業祭」へ出展し、買い物に訪れる親子連れの家族を中心に、郷土玩具である浜北のかざぐるま作りを紹介しました。
- ・展示に関連するテーマを題材にミュージアム講座を開催しました。綿糸の作り方を体験する「綿から糸をつくり隊！」や、地域で出土した埴輪をモチーフに、粘土の造形から窯での焼成までを行う埴輪づくりの体験を通じて、子どもだけでなく大人の方にも楽しく展示を学んでいただきました。

ア 施設付帯事業の実施

事業名		開催日	参加者数 (人)	内容
ワークショップ 「まが玉づくり」		5/5～7	※24	5月の連休中に児童等を主な対象とした、まが玉を作るワークショップを開催した。
出張講座				
はまきた産業祭		11/18・19	200	プレ葉ウォーク浜北が会場の「はまきた産業祭」へ出向き、浜北の風車作りを教えた。
ミュージアム講座				
綿から糸をつくり隊！		5/3・4	※12	展示されている綿繰り機を使って、昔ながらの方法で綿から糸を紡ぐ体験を提供した。
Doki?ドキ! My はにわ作り	講座	10/14	24	輪積みという技法でオリジナルのはにわを作り、完成させた作品はミュージアム内で展示した。
	展示	11/15～26	※486	
クラフトバンドでつくろう! 来年の干支「辰」		12/9	12	子どもから高齢者まで幅広い世代が参加し、干支の置物作りを楽しんだ。

事業名		開催日	参加者数 (人)	内容
サマーミュージアム		8/1～20	※1,422	児童や親子向けの体験ワークショップ。展示資料と関連するおもちゃや道具の製作体験や、クイズラリーで展示を楽しく学習する機会を提供した。
展示物ぬりえコーナー	作品募集	10/1～11/10	93	「見返りの鹿」「三角縁神獣鏡」などのイラストへのぬりえを募集し、展示資料について楽しみながら学ぶ機会を提供した。
	作品展示	12/1～3/31	※1,100	
館内スタンプラリー		通年	※232	1階「くらしの資料館」と2階「歴史資料館」にスタンプスポットを設置し、児童等が限なく回ることにより深い学習を促した。
体験コーナーの運営		通年	※878	機織り機を常時可動な状態で展示し、体験希望者にはスタッフが織り方を指導した。また、浜北の郷土玩具「浜北の風車」作り等を指導した。
教育プログラムの受入		通年	196	小学校校外学習等の教育機関の課外プログラムを受け入れ。
インターンシップ実習受入		8/17～20	1	県内・近隣県大学の学生を中心としたインターンシップの受け入れ。
浜北文化協会との連携		通年	—	機織りや藍染め等の伝統工芸の技術指導や助言を求めるとともに協会の事務局運営を支援した。
合計		12事業	4,680	※事業の一部は観覧者数と重複

イ 観覧者数

() 内は前年度実績

開館日数 (日)	観覧者数計 (人)	内 訳 (人)	
		大人 (高校生以上)	中学生以下
241※ (305)	8,663 (12,047)	6,360 (8,960)	2,303 (3,087)

※令和6年1月16日から3月31日まで臨時休館

(4) 浜松市秋野不矩美術館

① 運営総括

令和5年度は指定管理受託2年目となったこともあり、全体的な質の向上に注力しました。

特別展では、特に秋野不矩と目指した表現や伝えたいメッセージを一にする作家を厳選した展覧会を展開しました。これにより、年間を通して秋野不矩の画業や大切にしてきたものが一層見えやすくなり、近・現代の日本画表現の変遷も辿ることができる機会となりました。

所蔵品展では、不矩作品への理解が深まるよう、下描きと本画を並べて展示するなどの工夫をし、表現意図や造形的な作品構造の意図をわかりやすく解説することを心掛けました。これにより、多くの方から方向性を支援する言葉をいただくことができました。

物販については、人気により在庫切れとなったものについて、新たにデザインや材質を見直し、再販しました。また、広報活動のエリアを拡げ、地元の新聞社のみならず全国版新聞、スポーツ新聞、美術雑誌やファッション雑誌、建築雑誌などでの発信により県外からの来館者が増え、昨年度の来館者数を上回ることができました。

② 重点的に取り組んだ事項

- ・秋野不矩の生き方や不矩を取り巻く様々な人間関係を、作品が制作された当時の時代背景や、女性として・母としての不矩の人間性をわかりやすく伝えられるよう、所蔵品展キャプションを全てリニューアルしました。
- ・展覧会の意図を明確に伝えるため、展示コンセプトを展示室内に掲示しました。その結果、来館者から好評をいただき、メモを取る方や職員に質問をされる方が増え、時間をかけてじっくり鑑賞される方が増加しました。
- ・特別展では、研究者による講演会や作家本人・学芸員によるギャラリートークを開催し、展覧会の内容や作家の制作意図などの理解を深めることに努めました。
- ・小・中・高等学校等との教育普及事業の充実については、昨年度以上に校外学習や教員向け研修の機会を充実させ、講演会、実技講習会、社会体験研修等の受入れを増やし、秋野不矩の顕彰を一層図りました。
- ・ミュージアムコンサートでは、市内の演奏家6名によるライアー（竖琴）のアンサンブルを行いました。鑑賞者や演奏者からは、展示室内の響きが素晴らしく、絵画に囲まれた空間で癒されたとの声を多くいただきました。全3回の演奏で106名の方にご鑑賞いただきました。

ア 施設付帯事業の実施

事業名	開催日	参加者数 (人)	内容
展示事業 (8事業)			
所蔵品展 《見の目弱く、観の目強く》 (5事業)			
「地」の声を聴く いのちの輝き～ざらざらと～	4/1～16 (3/25～)	※736	インドの風土で逞しく生きる人間、動植物などの息遣いが感じられる作品を展示。本展では、大地のざらざらした感触が感じられる作品をはじめ、様々なマチエールの作品を紹介。
「水」の声を聴く ～いのちの源～	4/22～5/28	※2,302	いのちの源である水、大地を肥やす恵みの雨、信仰や祈りを育む大河など豊かな生命力を育む自然に焦点を当てた作品群を展示。また、造形的な視点を解説しながら、作品と対話することの面白さを紹介。

事業名		開催日	参加者数 (人)	内容
	「風」の声を聴く ～古からのいのち～	8/5～9/3	※1,732	幾時代を超えて廃墟と化してもなお残るそこで暮らしていた人たちの思いや願い。失われた文化や寂れ廃れていく風景から、秋野不矩が作品に込めたメッセージを様々な視点で謎解き風に紹介。
	「火」の声を聴く ～いのちの煌めき～	11/14～12/24	※2,212	厳しい環境の中で順応して生き抜いてきた人・動植物の姿を捉えた作品を展示。作品を通じて不矩自身の生き方や作品に込められた思いにも焦点をあて紹介。
	「空」の声を聴く ～いのち・創造の原点～	1/4～31	※916	新しい日本画とは何を目指したものであったのか。 世界に通用するための新たな日本画表現の確立に向け、秋野不矩が試行錯誤を繰り返した時代の作品を中心に紹介。
特別展 (3事業)				
	秋野不矩・金子富之が描く アジアの神々	6/17～7/30 開会式6/16	※4,013	秋野不矩のインドの神々をテーマとした作品と、現代日本画家・金子富之のヒンズー教を源流とする神々の作品を一堂に展覧。 共催：中日新聞東海本社
	加山又造と継承者たち ～新たな地平を求めて～	9/16～11/5 開会式9/15	※4,869	2015年に大好評を博した加山又造展を再び企画。本展では、秋野不矩・加山又造に加え、加山又造のDNAを引き継いだ後継作家らの作品を紹介。 共催：中日新聞東海本社
	上村松篁が描く万葉の世界 『額田女王』挿絵原画展	2/10～3/24 開会式2/9	※5,414	秋野不矩と創画会創設時からの同志である上村松篁が手掛けた、井上靖著『額田女王』のサンデー毎日連載時の挿絵原画や屏絵等の他、本画作品を展覧。共催：静岡新聞社・静岡放送
展覧会関連事業・教育普及事業 (9事業)				
	「秋野不矩・金子富之が描くアジアの神々」 金子富之によるギャラリートーク	6/17	※40	金子富之の世界観、表現意図をより理解するための作家本人による作品解説・質疑応答。
	夏休み絵手紙教室 「自由に〇〇を楽しもう」	8/2	23	小学生を対象に、水彩絵の具や顔料を使って描く楽しさを感じてもらおう絵手紙ワークショップを開催。
	「加山又造と継承者たち」 出品作家によるギャラリートーク	9/16	※49	出品作家5名と学術協力者による作品解説・質疑応答。
	講演会 上村松篁が描く『額田女王』 ～万葉歌人「額田王」	2/17	46	特別展に関連し、歌人「額田王」の人物と歌についての講演会を開催。 講師：花井しおり（人間環境大学心理学部教授） 会場：天竜壬生ホール会議室
	「上村松篁が描く万葉の世界『額田女王』 挿絵原画展」ギャラリートーク	3/1・8	※34	当館学芸員による作品解説・質疑応答

事業名	開催日	参加者数 (人)	内容
教育普及講演会	4回	※104	秋野不矩の画業の顕彰とともに、美術教育や幼児期の表現についての理解や支援に関する講演会を開催。(磐田市立東部幼稚園、掛川市教育センター、二俣幼稚園他)
団体向け見学前ガイド	通年	※917	秋野不矩の人物や作品、当館建築をより知っていただくための解説。
インターンシップ実習受入	8/9~12	1	県内・近隣県大学の学生を中心としたインターンシップの受け入れ。
教育プログラムの受入	通年	※114	職場体験・校外学習などの教育プログラム等の受け入れ。
地域連携・広報・その他事業 (7事業★)			
市民ギャラリーの貸出	通年	10団体	2階企画展示室を市民ギャラリーとして貸し出し。創作活動の発表の場として活用いただいた。特別展開催期間を除いて実施。
ミュージアムコンサート	12/16	※106	作品を鑑賞しながら音楽を楽しむ、市内の演奏家を起用した館内ミニコンサート。新規層の来館を促進。3回実施(各回20分程度)。 出演：大人のライアー倶楽部 (6名によるライアーアンサンブル)
まちなかコンサート @秋野不矩美術館	中止	—	芝生広場などの館外を会場に、地域行事に合わせた吹奏楽やダンスなど様々なジャンル・年齢層が出演する野外イベント。クローバー通り商店街で開催のため、当館での実施なし。
浜松市美術館「市展」への協力	年1回	—	浜松市美術館「市展」の作品受付・返却業務。 受付会場：二俣ふれあいセンター
公式ホームページサイトの管理運営	通年	—	秋野不矩美術館の公式サイトを開設。最新情報を提供。
SNSによる情報発信	通年	—	Instagram、X等を活用した情報発信。
メディア取材・雑誌等の記事掲載	通年	—	新聞、ラジオ、ケーブルテレビ、市議会だより、仏教各派月刊誌、美術関係月刊誌等への情報提供。
売店事業	通年	—	図録・ハガキ・グッズ等の販売及び在庫管理。
調査研究・保存・整理 (1事業)			
作品および資料の研究・整理・収集	通年	—	秋野不矩に関連する作品や資料の研究・整理及び浜松市が主管する資料収集への協力。
合計	25事業★	23,628	※事業の一部は観覧者数と重複

★中止事業は除く

イ 観覧者数

() 内は前年度実績

開館日数 (日)	観覧者数計 (人)	内 訳 (人)				
		大人 (高齢者含む)	高校生	小中学生	未就学児	その他
253 (237)	22,194 (21,118)	20,267 (19,212)	534 (534)	892 (582)	295 (651)	206 (139)

ウ 施設稼働率等

() 内は前年度実績

	利用率	延べ利用可能数 (日)	延べ利用実数 (日)	入場者数 (人) ギャラリーのみの入場
市民ギャラリー	55.8% (22.4%)	113 (116)	63 (26)	3,585 (1,848)

※特別展開催中は施設貸出なし

II 令和5年度 管理事項報告

1 会議に関する事項

(1) 評議員会議決事項

議決番号	開催年月日	件名
第1号議案	R5. 4. 30	理事の選任について（決議省略）
第2号議案	R5. 5. 26	評議員の選任について（決議省略）
第3号議案	R5. 6. 26	令和4年度事業報告及び会計報告の承認について
第4号議案	R5. 6. 26	評議員の選任について
第5号議案	R5. 6. 26	監事の選任について
第6号議案	R5. 7. 25	評議員の選任について（決議省略）
第7号議案	R6. 1. 15	理事の選任について（決議省略）

(2) 理事会議決事項

議決番号	開催年月日	件名
第1号議案	R5. 4. 20	令和5年度臨時評議員会招集について（決議省略）
第2号議案	R5. 5. 16	令和5年度臨時評議員会招集について（決議省略）
第3号議案	R5. 6. 9	令和4年度事業報告及び会計報告の承認について
第4号議案	R5. 6. 9	令和5年度定時評議員会の招集及び提出議案について
第5号議案	R5. 7. 14	令和5年度臨時評議員会招集について（決議省略）
第6号議案	R5. 11. 17	公益財団法人浜松市文化振興財団職員給与規程の一部改正について（決議省略）
第7号議案	R5. 11. 17	公益財団法人浜松市文化振興財団契約職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規程の一部改正について（決議省略）
第8号議案	R5. 11. 17	公益財団法人浜松市文化振興財団嘱託員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規程の一部改正について（決議省略）
第9号議案	R5. 12. 18	令和6年度事業計画の一部策定について
第10号議案	R5. 12. 18	令和5年度臨時評議員会の招集及び提出議案について
第11号議案	R6. 3. 19	公益財団法人浜松市文化振興財団組織規程の一部改正について
第12号議案	R6. 3. 19	公益財団法人浜松市文化振興財団職員就業規程の一部改正について
第13号議案	R6. 3. 19	公益財団法人浜松市文化振興財団職員給与規程の一部改正について
第14号議案	R6. 3. 19	公益財団法人浜松市文化振興財団職員退職手当支給規程の一部改正について
第15号議案	R6. 3. 19	公益財団法人浜松市文化振興財団契約職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規程の一部改正について
第16号議案	R6. 3. 19	公益財団法人浜松市文化振興財団嘱託員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規程の一部改正について

議決番号	開催年月日	件名
第17号議案	R6.3.19	役員等賠償責任保険の契約加入について
第18号議案	R6.3.19	令和6年度事業計画の策定について
第19号議案	R6.3.19	令和6年度収支予算の策定について
第20号議案	R6.3.19	特定費用準備資金の積立について

(3) 経営会議開催概況

ア 実施概況

17回開催（原則月2回）

イ 出席者

役員 理事長、副理事長、常務理事

事務局 事務局長、文化事業課長、経営企画課長、議題に関係する課長・担当課長・専門監

2 役員等に関する事項

(1) 役員等名簿（令和6年3月31日現在）

役職	氏名
代表理事	花井 和徳
副理事長	山崎 貴裕
常務理事	寺田 聖子
理事	石川 晃三
理事	内村 幸夫
理事	斉藤 薫
理事	佐々木 右子
理事	梶山 久美
理事	松下 育蔵
監事	半場 浩恭
監事	藤井 洋子

役職	氏名
評議員	伊藤 充宏
評議員	加藤 晃嗣
評議員	加藤 祐輔
評議員	河合 健太郎
評議員	佐藤 典子
評議員	杉山 岳弘
評議員	松木 温
評議員	丸山 晃司
評議員	宮崎 正
評議員	山名 裕
評議員	横田 みどり

(2) 役員等の異動

ア 就任

役職名	氏名	就任日
理事	反甫 一彦	R5. 4. 30
理事	内村 幸夫	R6. 1. 15
監事	藤井 洋子	R5. 6. 26※
監事	半場 浩恭	R5. 6. 26

役職名	氏名	就任日
評議員	山名 裕	R5. 5. 26
評議員	河合 健太郎	R5. 6. 27
評議員	加藤 晃嗣	R5. 7. 25

※印 令和5年度定時評議員会終結時をもって任期満了の後、重任

イ 退任または辞任

役職名	氏名	退任・辞任日
理事	遠藤 邦次	R5. 4. 3
理事	反甫 一彦	R5. 12. 31
監事	池浦 捷行	R5. 6. 26
監事	藤井 洋子	R5. 6. 26※

役職名	氏名	退任・辞任日
評議員	鈴木 伸幸	R5. 4. 30
評議員	日下 昌和	R5. 6. 26
評議員	西松 敬恭	R5. 6. 30

※印 令和5年度定時評議員会終結時をもって任期満了の後、重任

3 職員に関する事項

(単位：人)

所属	R6.3.31 職員数計	R6.3.31 職員数内訳			備考 R5.3.31 職員数
		正規職員	契約職員	嘱託員	
事務局長	1	0	0	1	1
文化事業課	23	14	0	9	21
アクトシティ浜松	20	6	2	12	20
クリエート浜松	8	4	0	4	7
浜松市浜北文化センター 浜松市・市民ミュージアム浜北	4	3	0	1	5
浜松市なゆた・浜北	—	(指定管理共同事業体で運営)			—
浜松市天竜壬生ホール	4	1	2	1	4
浜松市市民音楽ホール	6	3	0	3	6
浜松市楽器博物館	10	4	0	6	10
浜松文芸館	3	0	0	3	3
浜松市秋野不矩美術館	5	1	0	4	4
経営企画課	10	8	1	1	11
計	94	44	5	45	92